

NSGサステナビリティレポート 2014

ガラス技術で世界に変革を



NSGサステナビリティレポート 2014 について

当社グループは長年培った技術とノウハウを基盤に、ガラスメーカーとして革新性および先進性を追求しています。グローバル組織を通じ、現在の顧客ニーズに応える製品の開発および製造に取り組むと同時に、不断の研究開発と技術革新を通じて、新たな市場の創造に挑戦し続けます。

NSGグループは、サステナビリティの実現に向けて積極的に取り組んでいます。安全かつ企業倫理に沿って事業活動を行いながら、高性能ガラス製品の生産を通じて、生活水準の向上、人々の安全と健康、省エネ・創エネに貢献することをミッションとして掲げています。

ガラス製造はエネルギー多消費型産業ですが、一方で、ガラス製品自体は、そのライフサイクルを通じて省エネで世の中に大きく貢献しています。

表紙の写真

Pilkington **Insulight™** Sunを採用した、ポーランドのワルシャワにあるオフィスビルBlue Point

撮影：Wojciech Kryński.

より詳細はウェブサイト
をご覧ください：

<http://www.nsg.co.jp/>



このレポートについて

NSGグループでは、2014年、サステナビリティの原則をさらに浸透させ、定着させてまいりました。

NSGグループは「国連グローバル・コンパクト」に参加しました。国連グローバル・コンパクトが提唱する人権・労働基準・環境・腐敗防止に関する10原則は、社会と環境に対する企業としての責任を定めた当社グループの「行動規範」の理念と共通するものです。

これまで実施してきた収益性改善施策および生産性改善施策の効果が、CO₂排出量と資源消費量の低減に反映され始めています。

NSGグループのサステナビリティ目標に対する進捗状況は、本レポートおよび当社ウェブサイトに掲載しています。

サステナビリティ関連の実績に関するさらに詳細な情報や図表は、NSGグループのウェブサイトの「サステナビリティ」セクションをご覧ください(<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability/>)。



目次

NSGグループについて 社長メッセージ 02 グローバルな事業展開 03 COO メッセージ 04 2015年のサステナビリティ目標 05		NSGグループについて
マネジメント サステナビリティへのアプローチ 06 コーポレートガバナンス 10		マネジメント
NSGグループの事業 事業概観 12 建築用ガラス 14 自動車用ガラス 16 高機能ガラス 18		NSGグループの事業
環境 環境方針とマネジメント 20 エネルギー使用 22 環境負荷低減の推進 24		環境
NSGグループのステークホルダー 従業員 26 安全・衛生 28 顧客 30 サプライヤー 32 地域社会 34 株主・投資家 36		NSGグループのステークホルダー
報告にあたって GRI 指数 38 その他の情報 40 報告アプローチ IBC		報告にあたって

社長メッセージ

NSGグループは、サステナビリティの実現に向けて、積極的に取り組んでいます。当社グループの戦略および方針は、世界の限りある資源を管理するうえで私たち全員が直面する課題に対応しています。



私たちは、生活水準の向上、人々の安全と健康の増進、省エネ・創エネに貢献する独自の価値を持った製品およびサービスを提供しています。

私たちは、当社グループに関わる全ての人々(ステークホルダー)のニーズのバランスを取りながら、事業活動による環境負荷の低減に取り組み、従業員の能力を育成し、工程および製品のイノベーションを促進することで、サステナビリティの目的を達成することを目指します。事業を展開する地域社会と協調して事業活動を行いつつ、顧客や請負業者、サプライヤーにも賛同を働きかけていくつもりです。

当社製品の気候変動対策に対する貢献を中心に据えて、サステナビリティに関する方針を策定しております。私たちは常に、事業活動における省エネルギー化と省資源化に取り組んでいます。当社の2014年における温室効果ガス排出量は、設備稼働率およびエネルギー効率の改善によって、前年比7%減の4.2百万トンとすることができました。

当社グループが事業を展開するバリューチェーンに環境面でも積極的に貢献し、国際的に高まる省エネ・創エネに役立つ製品需要を取り込んでいくことを目指します。ガラスは、温室効果ガスの排出削減に大きく貢献することができます。

私たちは、ステークホルダーの皆様と協力して、ガラスの利用を通じてエネルギー効率の改善に貢献する方針および規則を策定します。私たちは「国連グローバル・コンパクト」のメンバーとして、その10原則の推進を支持します。これらは社会と環境に対する企業としての責任を定めた当社グループの「行動規範」の理念と共通するものです。

私たちは、引き続きサステナビリティの原則をNSGグループに浸透させ、定着させるよう努力してまいります。

森 重樹

代表執行役社長兼CEO

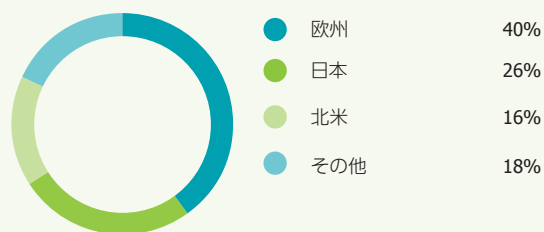
森重樹

グローバルな事業展開

NSGグループは、ガラスおよびグレーディングシステムの世界最大のメーカーの一つで、建築用ガラス、自動車用ガラスおよび高機能ガラスの3つの事業分野で事業を展開しています。グループ従業員数は約27,000人。世界28カ国に主要な製造拠点をもち、130カ国以上で製品の販売を行っています。

売上高(連結ベース)

地域別



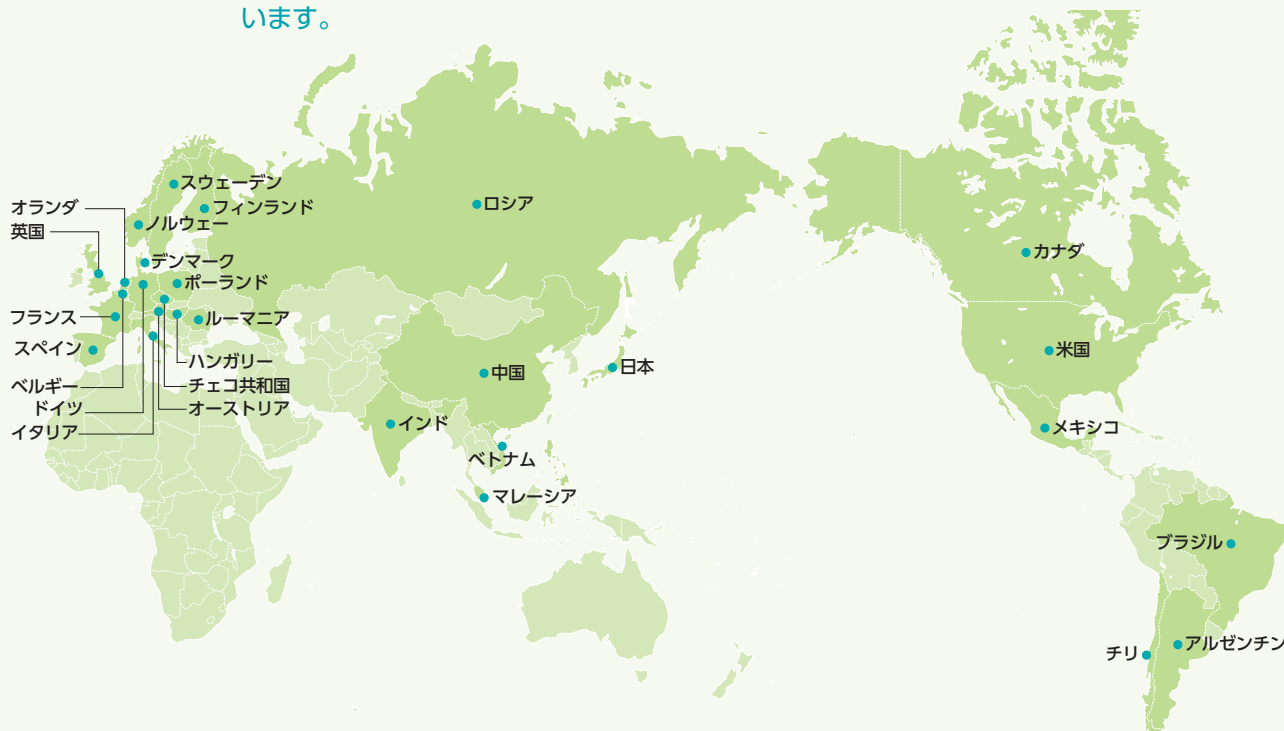
事業別



建築用ガラス事業 – 世界の建築用ガラスのほか、太陽光発電分野にガラスを提供しています。

自動車用ガラス事業 – 世界市場で自動車用ガラスおよびグレーディングシステムを製造・販売しています。

高機能ガラス事業 – ディスプレイやオフィス機器、ガラス繊維分野で事業を展開しています。



COOメッセージ

ガラスおよびグレーディング市場で求められているものは、社会および環境のサステナビリティに貢献する、より繊細で高度な機能をもつ高付加価値製品および高付加価値サービスです。



当社グループは、高機能ガラス事業部門だけではなく、建築用ガラス事業部門および自動車用ガラス事業部門においても、広範囲の高付加価値製品を揃えています。

NSGグループの事業は、「ものづくり」におけるリーディングカンパニーとしての地位を強化しながら、今後ますます高付加価値製品およびサービスの販売比率を増やすことに注力してまいります。これによって私たちの住む地球の省エネ・創エネに大きく、持続的に貢献することができます。

当社グループの戦略的ビジョンは、高付加価値ガラス企業「VAガラスカンパニー」に変容・変革することです。「VA」とは「value-added（高付加価値）」に由来します。全ての事業分野において新しい、革新的な製品を開発することに主眼を置き、グローバルに活躍するお客様企業とも密接に協力して、これらお客様企業のサステナビリティ上の目的達成に貢献する製品およびサービスを提供してまいります。

当社グループは、製品およびサービスの提供を通じて持続可能な発展に一貫して、有意義なかたちで貢献してまいります。人事、資源、地域社会、環境を適切に管理することは、事業の発展にもつながるのです。



最高執行責任者 (COO)
クレメンス・ミラー

2015年のNSGグループのサステナビリティ目標

目標	進捗状況・現状とコメント
経済 2桁台の営業利益率の達成	2014年3月期営業利益率(ピルキンソン社買収に伴う無形資産等償却前)3.7%。中期経営計画(MTP)は、2018年3月期の同営業利益率目標を8%としている。
エネルギー 全3事業部門から主要8製品を選び、その直接エネルギー消費量を種類別に報告し、2015年までに削減 全3事業部門でこの領域をテーマにした研究開発プログラムが多数進行中	主要8製品は以下の通り 建築用ガラス <ul style="list-style-type: none"> クリアフロート オンラインCVDコーティング技術で製造する薄膜系太陽電池用透明導電膜(TCO)付きガラス オフラインコーティング技術で製造する建築用Low-E(低放射)ガラス 自動車用ガラス <ul style="list-style-type: none"> サイドガラス用熱線吸収グリーンガラス フロントガラス用赤外線反射合わせガラス リア・サイドガラス用プライバシーガラスGalaxsee 高機能ガラス <ul style="list-style-type: none"> エンジン用タイミングベルト向けマイクロガラス®ガラスコード オフィス機器向けセルフロック®レンズアレイ(SLA®) 主要8製品の実績は、当社グループのウェブサイトwww.nsg.comの「サステナビリティ」のセクションに掲載
製品開発 全3事業部門から主要8製品を選び、それぞれの製品ライフサイクル中のエネルギー収支を報告し、2015年までに改善順調に進捗。多数の研究開発プログラムを進行中。新製品開発と既存製品の改良、およびそれらの製品によるCO ₂ ペイバックタイム短縮効果に関する将来を見据えた研究活動をスタート	主要8製品は以下の通り 建築用ガラス <ul style="list-style-type: none"> 薄膜系太陽電池モジュール用ガラス オフラインコーティングLow-Eガラスを使用している複層ガラス オフラインコーティングソーラーコントロールガラスを使用している複層ガラス 自動車用ガラス <ul style="list-style-type: none"> フロントガラス サイドガラス ルーフガラス 高機能ガラス <ul style="list-style-type: none"> エンジン用タイミングベルト向けマイクロガラス®ガラスコード オフィス機器向けセルフロック®レンズアレイ(SLA®) 主要8製品の実績は、当社グループのウェブサイトwww.nsg.comの「サステナビリティ」のセクションに掲載
安全衛生 重大災害度数率(SIR)を2007年の1.38から80%削減し、0.3に(発生件数ベースでは、基準値である2007年の月50件から10件まで減少)	2014年3月期の重大災害度数率(SIR)実績は0.39で72%の削減に相当。 2015年3月期の目標は前年比20%減とし、より安全な職場環境の提供を目指す
サプライチェーン NSGグループの「サプライヤー行動規範」を全てのサプライヤーに案内し、その遵守に合意してもらうためのプロセスを実施する。2015年中に、300以上のサプライヤーを対象に行動規範に基づく評価を実施することを旨とする	多数のプロセスを用いて、当社グループのサプライヤーに対する「サプライヤー行動規範」の案内を継続している。この行動規範を理解し、これに同意するようサプライヤーに求める。サプライヤーによる行動規範の同意は順調に進捗しており、200社を超えるサプライヤーに対する評価を完了
リサイクルと廃棄物 埋め立て処理する廃棄物を2007年比で半減(基準値である2007年の年間約46,000トン)を、2015年までに年間23,000トンに削減	2014年には年間約21,000トンを埋め立て処理。基準値に対して54%減に相当 さらに削減を達成するために、廃棄物発生量の削減およびリサイクル率の向上に向けた取り組みを進行中
人材 全従業員を対象に、各人のキャリア開発計画と研修に関するレビューを年1回実施予定。2015年までに90%の従業員に実施	2014年に工場働く正社員の91%は1対1の個人面談をするか、現場または部門の研修計画のブリーフィングに出席し、そこで人材育成プロセスが実施された。このようにグループの目標は達成された。

サステナビリティへのアプローチ

ガラスは、温室効果ガスの排出削減や気候変動の影響の緩和に向けた社会の取り組みに大きく貢献しています。NSGグループは、革新的な高性能ガラス製品の分野でグローバルリーダーとなり、省エネ・創エネに貢献し、安全かつ企業倫理に沿って事業活動を行うことを目指します。



私たちは大規模なリストラクチャリングを実施し、資源の有効活用を大幅に改善しました。私たちは、持続可能な開発を実践するためにグループサステナビリティポリシーに定めたコミットメントを今後も堅守してまいります。

VAガラスカンパニーに変容・変革するという当社グループの新たなビジョンの下で、社会に対して新しい価値を有する製品やサービスの開発を目指します。私たちは、製品のライフサイクルを通じてお客様により大きな利益をもたらす一方で、環境負荷を低減する製品やプロセスを開発するべく努力します。

当社の生産性改善施策により、引き続きエネルギー消費量の低減、温室効果ガス排出および廃棄物の削減が推し進められています。

従業員に対しては、教育・育成を継続的に実施し、彼らの人権を尊重して安全な職場環境を提供しています。

当社グループは、現行のキーサプライヤーに対するサステナビリティ活動の評価を通じて、請負業者やサプライチェーンに対してもサステナビリティの実現に向け、賛同を働きかけてまいります。

サステナビリティ統括部長

小林史朗

NSGグループにとって、サステナビリティの実現に向けた取り組みはコスト削減と事業機会の拡大に必要な不可欠な要素です。2014年に当社グループは、業績に対する効果が大きくかつ即効性のある、エネルギー節減や廃棄物削減などに向けた取り組みを継続してきました。顧客の要求はかつてないほど高まっており、世界各地のガラス市場で競争が激化する中、そのニーズに対応できることは重要な意味を持ちます。

当社グループは事業を展開する国や地域で、それぞれの地域社会や政府機関と協力し、各国・各地域の法令を遵守し、将来を見据えて事業に取り組んでいます。これについては、一企業として直接対応するとともに、加盟する各種業界団体、標準化団体などの組織を通して間接的にも対応しています。また、省エネ・排出量規制の分野を中心に法規制の整備を促す活動に取り組んでいます。

ガラス製造はエネルギー多消費型産業です。ガラスの原材料の調達および溶解には大量のエネルギーが消費されます。製造工程ではこうしたエネルギー資源の消費がどうしても必要となりますが、このエネルギーは当社製品の利用が増えればすぐに節約が可能です。当社のガラス製品は、気候変動への取り組みと生活環境や職場環境の質の改善に極めて大きな貢献をすることができます。

当社グループの管理職チームは引き続き、環境安全プログラムに積極的に取り組んでいきます。2014年は、この取り組みを強化する目的で、NSGグループ環境安全衛生アワードを新設し、また第4回「NSGグループ安全の日」を開催しました。

サプライヤー各社には「サプライヤー行動規範」を案内し、提出された宣誓書を検証するための審査を実施しております。当社製品の主原材料である鉱物資源も製造に必要なエネルギーも、地球から採取しなければならないものです。そのため、当社グループには、こうした資源採取の影響を受ける地域の自然環境の保全に真剣に取り組む責任があります。

ビジョン

ガラス技術を通じて、サステナビリティに積極的に貢献していく私たちの決意を定めたものです。

ガラス技術で世界に変革を

ミッション

革新的な製品を持続可能な方法で生産し、供給することを通じて、省エネ・創エネに貢献し、事業目標の達成を目指す当社グループのアプローチを定義しています。

革新的な高性能ガラス製品の分野でグローバルリーダーとなることを目指すと同時に、省エネ・創エネに貢献し、安全で倫理的な事業活動を行います。

経営理念

ステークホルダーと関わる上で基本とする当社グループの理念と指針を規定しています。

行動規範

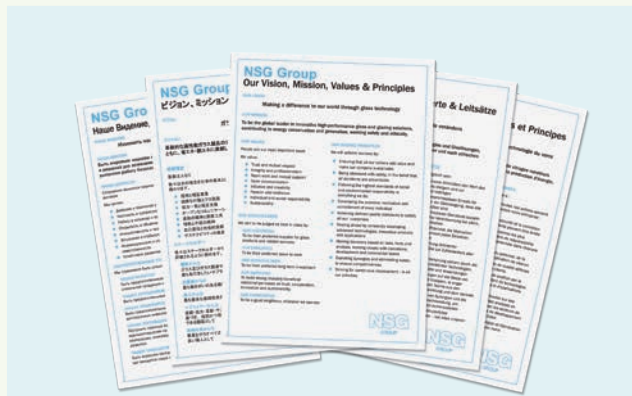
NSGグループの全ての従業員に求められる行動を規定しています。

NSGグループの「行動規範」は、NSGグループの「経営理念と行動指針」に基づき、中でも安全や主体的行動、オープンで積極的なコミュニケーションを重視しています。

行動規範の根幹をなす原則は、そうした活動をNSGグループが安全かつプロフェッショナルに、法に則って倫理的に行うこと、企業の社会的責任とサステナビリティの追求を身をもって示すことです。この行動規範では、可能な限り、公正で良識ある事業への取り組み方とは何かを明確に定義しています。また項目によっては法規制による厳格な要求に基づいて定められているものもあります。

ポリシーおよびプロシージャ

健全な統治、厳密な管理、リスクマネジメント、法的・倫理的・持続可能な原則の遵守の実現に向けて、当社グループの全ての従業員が遵守すべき方針や手順の詳細を規定しています。



ステークホルダー

我々はステークホルダーから最上位の会社と評価されるように努めます。

顧客からは

ガラスおよびガラス関連サービスで最も取引したいサプライヤーとして

従業員からは

最も働きがいのある職場として

株主からは

最も優良な長期投資先として

サプライヤーからは

信頼・協力・革新・サステナビリティに基づき、強固かつ相互に有益な関係を構築できる顧客として

地域社会からは

事業を行う全ての地域において良き隣人として

サステナビリティへのアプローチ

(続き)

マネジメントアプローチ

環境

NSGグループは環境に対する責任を真摯にとらえています。事業を行う上で、全ての法的基準を遵守することは企業として最低限守るべき義務であり、それぞれの国や地域の法律や基準では問題の対応に十分ではないと思われる場合は、グループ独自の基準を適用して対応しています。環境監査を定期的に実施し、継続的な改善を通して、水準の維持・向上に努めています。

「NSGグループ環境ポリシー」は、環境問題に対するNSGグループのアプローチを定義し、現在の事業活動はもちろん過去の事業活動や買収先など他社から引き継いだ責任を含めた環境管理について定めています。NSGグループはこのポリシーに則り、当社の事業がもたらす、環境に対する影響を、確かな科学的根拠に基づき予測・評価します。

ガラス製造業が地域環境および地球環境に与える影響を避けることはできないことを認識した上で、環境への負荷をコントロールするシステムを整備し、負荷を最小限に抑えるための対策を講じています。NSGグループの環境マネジメントシステムは、その要となるものです。自動車用ガラス製品の製造拠点及び全てのガラス製造拠点が環境マネジメントシステムの国際的な規格であるISO14001の認証を取得しています。

70%

現在世界中で81拠点がISO14001認証を取得しており、これは売上ベースで事業全体の70%に相当します。

私たちは、環境実績の良し悪しに関係なく必ず報告を行います。環境関連のデータはエネルギー、大気中への排出量、水使用量、リサイクル、廃棄物などの項目ごとに集められます。これらの項目は、GRI（グローバル・レポーティング・イニシアティブ）ガイドラインの環境パフォーマンスの中核指標を参考にしています。環境データは、オンライン報告システム「Airsweb™」によって収集されます。「Airsweb™」は、同時に災害報告システムとしての機能も兼ね備えています。環境に関する当社グループの最高責任者は、サステナビリティ統括部長です。

社会

NSGグループは、事業を展開するそれぞれの地域社会において、環境を管理し、社会を構成する重要な一員として果すべき責任を負っていると考えています。私たちは、事業が地域社会に与える影響を注意深くモニタリングすることで、汚染、騒音、交通渋滞などの起こり得る弊害を最小限に抑えるべく努めています。また、事業参入や操業、撤退などを含め私たちの事業活動が地域社会に与える影響を評価・管理するプログラムを運用しています。

NSGグループは、地域における事業活動を継続するための事業投資に加えて、地域社会への投資も行っています。

慈善活動などへの寄付金や物資の提供を通じて、地域社会の健全性の向上や社会問題の解決に取り組んでいます。

NSGグループの従業員は、地域社会との良好な関係作りにおいて、積極的な貢献を果たすことが奨励されています。例えば、従業員による募金に会社が同額を拠出する方法での募金活動の奨励や従業員が地域のプロジェクトにボランティアとして参加する際のサポートを行っています。地域社会・社会問題に関する当社グループの最高責任者は、サステナビリティ統括部長です。

人権

NSGグループの「行動規範」は、全ての従業員に求められる行動を規定したものです。NSGグループの「経営理念と行動指針」に基づき、中でも安全や主体的行動、オープンで積極的なコミュニケーションを重視しています。行動規範の根幹をなす原則は、そうした活動をNSGグループが安全かつプロフェッショナルに、法に則って倫理的に行うこと、企業の社会的責任を身をもって示すことです。

行動規範では、国際的に宣言された人権を尊重することを明確にしています。当社グループはこの人権尊重の考え方に沿った雇用方針・雇用慣行をグループ全体で適用することにより、従業員の公正な取り扱いを保証しています。NSGグループの雇用機会均等ポリシーはダイバーシティ(多様性)を尊重し、人種、皮膚の色、信条、宗教、年齢、性別、性的指向、国籍、障害の有無、労働組合への加入、政治的所属、法で保護された地位等を理由とする差別の禁止を目的としています。このポリシーは雇用関連の決定を行う際に必ず適用されます。人権に関する当社グループの最高責任者は、最高人事責任者(CHRO)です。

労働慣行

NSGグループの経営理念の根幹を成す理念は、「事業は人なり」です。

NSGグループの人事戦略は、適材適所に人材を配置し、個人の能力が最大限に発揮できるようにグローバル全体で人材管理・人材育成を行なうことを目指します。

全ての事業活動において安全と品質を第一に考え、雇用方針の柱として「オープンなコミュニケーション」を推進しています。適材適所に人材を配置し、個人の能力が最大限に発揮できるようにグローバル全体で人材管理、人材育成を行っています。

NSGグループは、多国籍企業グループの一つです。従業員の80%は日本国外で働いています。グループではダイバーシティに対応した従業員採用を行っています。多種多様な国籍、スキル、資格、経験などが私たちの事業に与えるメリットは非常に大きいと考えています。国籍、出身地域を問わず、適材適所に人材配置を行っています。

優秀な従業員の雇用、モチベーション、育成、定着を目的とした報酬・雇用方針を採用し、常勤・非常勤を問わず、能力の高い従業員には市場競争力のある報酬・手当を提供しています。

とりわけ、新興市場において優秀な人材を採用・長期雇用する上での課題を特定し、解決に向けた方針を策定しました。当社グループは、全従業員が、脅迫、報復行為、ハラスメントを受ける心配をすることなく安心して働ける企業文化の醸成に努めています。従業員が懸念事項についての報告・相談を、機密性が確保された状態で適時に行うことができる制度を設置しています。労働慣行に関する当社グループの最高責任者は、最高人事責任者(CHRO)です。

NSGグループは従業員全員の健康と安全を最優先し、従業員の能力を最大限に発揮できる職場環境を提供することを目指しています。NSGグループの安全プログラムでは、一人ひとりが安全への自覚と責任意識を持つこと、安全行動を遵守することを重視しています。全ての労働災害は、未然に防ぐことができると考えます。どんなに些細な災害も報告・調査することが求められます。

安全に関する実績についての詳細は、本レポートの「安全・衛生」のセクションをご覧ください。

NSGグループ環境安全衛生アワード2014

この賞は、環境安全衛生に対する意識を高めるため、その分野において特筆すべき取り組みを行った個人やチームを表彰するものです。環境安全衛生の取り組みに関する優れたアイデアの多くは、従業員から寄せられます。これまでに安全衛生上リスクの軽減、汚染の最小化、省エネ、および廃棄物や水、原材料の発生・利用の抑制、リサイクル、再利用などに関する対策が提案されました。審査は、事業部門の上級管理職と環境安全衛生専門家が共同で行います。

2014年受賞プロジェクトの詳細は、22ページと29ページをご覧ください。



製品責任

当社は、お客様に当社製品を安全に正しく取扱い、施工・使用していただけるよう、製品の使用時の安全確保についても万全を期しています。当社グループは製品リスク評価プロセスを定め、リスクを特定し、お客様に使用上の注意事項をお知らせしています。安全データシート、製品ラベル上での注意喚起のほか、安全上の注意事項をまとめた「ガラスの取扱いと施工に関するガイドライン」を通して、製品リスクに関する情報提供を行っています。

新製品と新工程の開発に関する全ての研究開発プロジェクトに対して、プロジェクトの早期段階で環境影響アセスメントの実施を義務づけています。プロジェクトが環境に与えるプラスの影響と生じる可能性のあるマイナスの影響を早期に特定し、アセスメントの結果に応じてプロジェクトを管理できるようにしています。当社グループは、当社製品のライフサイクルの全ての段階において環境衛生と環境保護に配慮する持続可能な循環型社会への貢献を目指しています。

当社グループは正式なプロジェクト管理プロセスにおいて、徹底的な知的財産調査を実施しています。それにより、顧客は、第三者の特許権侵害を心配することなく当社が開発した製品やプロセスを使用することができます。

製品責任に関する当社グループの最高責任者は各事業部門の部門長です。

NSGグループは、EcoVadisの社会的責任(CSR)評価でシルバーを獲得

EcoVadisは独立した外部プラットフォームを提供することで、企業が自社の環境および社会的パフォーマンスをグローバルに自己評価したり、ベンチマークと比較できるようになります。

そのプロセスにおいて、環境、労働慣行および人権、公正な商慣行ならびに持続可能な調達問題に関する企業のポリシー内容、実施されたプロシージャー、および刊行された報告書を評価します。この評価は、150の産業分類と21のCSR基準を網羅するスコアカードを使って、国、業種、および規模の違いに合わせて柔軟に調整されたアンケート調査に基づき、EcoVadisのCSR専門家によって実施されます。格付けは、裏づけ資料、公的情報、ステークホルダー(NGOs、業界団体、新聞・雑誌)情報に基づいて決められます。

NSGグループは、EcoVadisによる評価に基づいてグループのCSRパフォーマンスの全体像を把握し、改善すべき分野を明らかにしました。NSGグループのCSRマネジメントに対する取り組みは、EcoVadisによる評価で**シルバー**を獲得しました。



コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスの充実は、NSGグループのサステナビリティ活動の重要な要素です。NSGグループは、全てのステークホルダーとの有効かつ透明な関係の構築に努めています。

良好なコーポレートガバナンスは、企業の業績向上の基礎であり、外部からの資金調達を容易にし、企業の持続可能な発展に資するものと確信しています。責任ある経営姿勢を明確にうたった事業目標や指針を全てのステークホルダーに開示し、高い透明性を持って、十分な説明責任を果たしてまいります。

ガバナンス体制

NSGグループは、株主総会の決議によって選任された取締役をその構成員とする取締役会によって運営されます。取締役会は、取締役会議長のほか、4名の執行役、および4名の独立社外取締役* から構成されます。2014年3月期には、取締役会は計10回開催されました。

取締役会は、NSGグループの経済・社会・環境面での業績、ならびに社内基準、国際的に合意された基準、行動規範および原則の遵守状況について監督を行います。

* 当社は、証券取引所が定める社外取締役の独立性基準に加え、当社グループや当社役員、主要株主との関係等をも加味した独自の独立性基準を設定しており、当社の社外取締役は全て当該独立性基準を満たしています。

委員会設置会社制度

NSGグループはベストプラクティスとして主要な日本企業と同様に委員会設置会社制度を採用しております。社外取締役の機能強化により、ガバナンスを強化し、企業活動の一層の透明性、信頼性の向上に努めてまいります。株主の皆様にご正確で十分な情報を発信してまいります。

当社は、指名委員会、監査委員会及び報酬委員会の3つの委員会を設置しています。独立社外取締役の人数は4名です。

指名委員会は、株主総会に提出する、取締役の選任および解任に関する議案の内容を決定します。同委員会は、4名の独立社外取締役を含む取締役6名で構成され、独立社外取締役である朝香聖一氏が委員長を務めます。

監査委員会は、4名の独立社外取締役で構成され、独立社外取締役である藤田純孝氏が委員長を務めます。取締役および執行役による業務執行状況を監査し、適切なリスク管理プロセスの整備・運用の徹底を図ります。さらに、株主総会に提出する会計監査人の選任および解任に関する議案の内容を決定します。

報酬委員会は、それぞれの取締役および執行役の個別の報酬内容を決定します。同委員会は4名の独立社外取締役を含む取締役6名で構成され、独立社外取締役である小宮弘氏が委員長を務めます。

国際会計基準(IFRS)の適用

当社グループは、2011年4月1日より連結財務諸表作成にあたり、

国際会計基準(IFRS)の適用を正式に開始しました。グループ全体が同一の会計言語を用いることは、社内の意思決定プロセスがより効率的に機能し、コーポレートガバナンスのさらなる強化につながります。2012年3月期より、当社グループは連結財務諸表をIFRSに準拠して作成・報告しております。これにより、公表する財務情報を「アニュアルレポート」として毎年発行しています(英語のみ)。このレポートは、当社ウェブサイトより閲覧・ダウンロードすることができます。

リスクマネジメント

グローバルに事業を展開するNSGグループの事業活動は、多種多様な潜在的リスクをはらんでいます。そのため有効なリスク管理が不可欠です。リスクには、債券相場の変動、外国為替相場の変動、信用リスク、エネルギー価格の変動、流動性・金利リスク、事業中断リスクなどが含まれます。重要リスクを抽出し、それぞれのリスクの発生可能性とリスクが顕在化した際の影響度について、標準フォーマットを用いて評価を行っています。この情報を活用して、グループ全体のリスクを把握し、有効なグローバルリスク対策を進め、リスクマネジメント体制の強化を図っています。

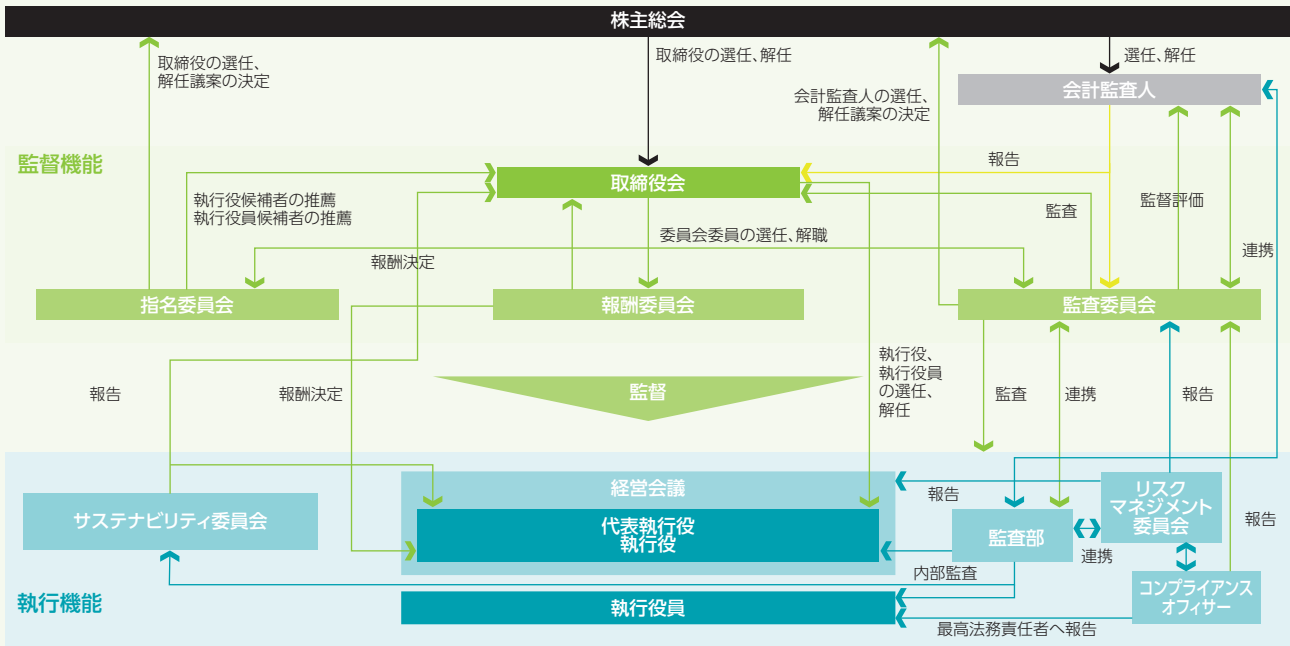
倫理とコンプライアンス

NSGグループの「行動規範」は、当社グループの基盤となる、そしてグループおよび従業員が将来の成功に向け依るべき理念を定めています。

汚職防止法をはじめ関連する全ての法令への遵守を行動規範の中でうたっています。この行動規範は、事業活動のあらゆる領域でグループ・従業員の双方に求められる行動を規定するものであり、ステークホルダーとの関係に適用されます。

アラン・グラハムがグループの倫理・コンプライアンスオフィサーとして、その責任において、当社グループにおける総合的な倫理・コンプライアンスマネジメントシステムの策定、実施および維持管理を行い、この分野におけるポリシーとプロシージャの作成および見直しを行います。グループの倫理・コンプライアンス部門は、定期的に監査委員会および経営会議に報告します。

オープンなマネジメントシステム



As at 30 June 2014

NSGグループでは、贈収賄、汚職、および競争法違反に関連するリスクに直面する従業員を特定するために継続的にリスクベースの評価を行っています。当社グループの全従業員（現場作業員を除く）のうち65%以上に、NSGグループ倫理コンプライアンス教育センター（イントラネット上のオンライン研修サイト）で年1回のABACおよび競争法遵守の研修（外部ベンダーによる）を受けるよう義務付けています。受講者は全員、研修終了時にコンプライアンスプログラムのポリシー、マニュアル、プロシージャの内容を十分に理解していなければなりません。各事業部門および各グループファンクションにコンプライアンス窓口が設置され、窓口の担当者は、キーロールに認定された従業員にコンプライアンスプログラムの最新情報を提供し、従業員が同プログラムの要件を満たしていることを確認する責任を負っています。

グループの倫理・コンプライアンス部門と監査部の協働によって、ABACおよび競争法遵守を、事業所監査の内部統制の評価項目に追加しました。ロビイストとの関係は、第三者との関係であるためABACプログラムが適用されます。公共政策の立案段階におけるロビー活動については、NSGグループの「行動規範」およびNSGグループのウェブサイト（<http://www.nsg.co.jp>）をご覧ください。

当社グループでは「懸念事項報告・相談」ポリシーおよびプロシージャを作成し、従業員がコーポレートガバナンスに関する懸念を持った場合、どのようなものであれ会社に相談・報告できるように、外部ベンダーを通じた電話またはウェブサイトによるホットラインを設置しました。これは合法的であれば匿名で行うことができます。全事業所に懸念事項ホットラインのポスターも配布されました。

社内外で開始する、または実施された活動がコンプライアンス違反に該当するか否か、懸念事項を相談・報告する仕組みが正式に整備されました。2012年の導入以来、全部で63件の懸念事項がこの制度を通じて報告され、そのうち18件は2014年3月期に行われました。一つ一つの事項が適宜レビュー・調査され、コンプライアンス違反であると確認された事項の全てに対して必要な措置が講じられました。

コンプライアンスに関する実態調査

ベストプラクティスに倣って、贈収賄汚職防止（ABAC）と競争法遵守プログラムの2つの主要コンプライアンスプログラムに焦点を当てた、コンプライアンス実態調査を世界23か国の1,232名の従業員を対象に実施しました。

「ガバナンス、文化およびリーダーシップ評価」（コンプライアンス実態調査）の結果が分析され、報告書がNSG経営幹部に提出されました。倫理的な行動をとりコンプライアンス要件を遵守することの重要性について、管理職はもっと積極的に従業員に周知する必要があるという点が、今後の課題として明らかにされました。

92%

の従業員は、コンプライアンスに対するグループの姿勢を理解している。

80%

の従業員は、もし同僚が上司の認めないような行動をとっていたら、これを正そうとする。

88%

の従業員は、コンプライアンスプログラムの要求事項を日々の役割に当てはめるやり方を理解している。

事業概要

当社グループは、3つの事業分野で事業を展開しています。建築用ガラス事業は、世界の建築用ガラスのほか、太陽光発電分野にガラスを提供しています。自動車用ガラス事業は、世界市場で自動車用ガラスおよびグレーディングシステムを製造・販売しています。高機能ガラス事業は、ディスプレイやオフィス機器、ガラス繊維分野で事業を展開しています。

建築用ガラス事業

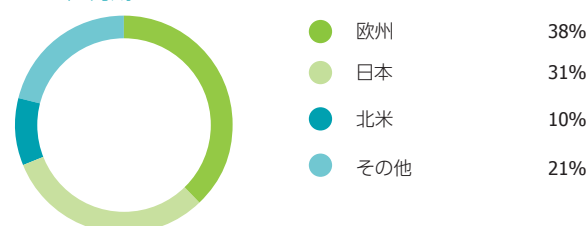
フロートガラス技術とコーティング技術のリーディングカンパニー

40%

グループ売上に占める割合*

地域別売上構成比

2014年3月期



21カ国に約8,800人の従業員

主要製品

- 断熱ガラス
- 防火ガラス
- ソーラーコントロールガラス
- 太陽光発電用ガラス
- 防音ガラス
- 安全・防犯ガラス

グループCO₂排出量に占める割合62%



2014年3月期現在2014

自動車用ガラス事業

世界中の主要な自動車メーカーに製品を提供

50%

グループ売上に占める割合*

地域別売上構成比

2014年3月期



16カ国に約15,100人の従業員

主要製品

- ソーラーコントロールガラス
- グレージングシステム
- 合わせガラス
- 強化ガラス
- 防犯ガラス
- 軽量ガラス

グループCO₂排出量に占める割合33%



高機能ガラス事業

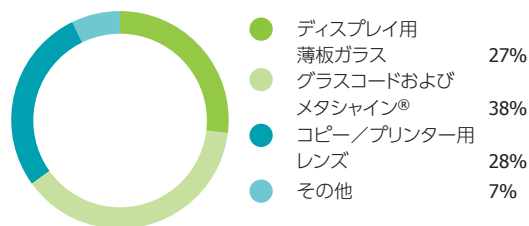
ディスプレイ用薄板ガラス、オフィス機器用光学製品の分野でトップメーカー

10%

グループ売上に占める割合*

製品別構成比

2014年3月期



5カ国に約2,000人の従業員

主要製品

- LCD用薄板ガラス
- コピー/プリンター用レンズ
- グラスコード
- 電池用セパレーター
- ガラスフレイク
- メタシャイン®

グループCO₂排出量に占める割合5%



建築用ガラス

NSGグループのガラス製品は現代建築物やその構法および建設に必要な不可欠な素材として広く使用されています。新旧を問わず、あらゆる建築物が直面する環境問題の解決に貢献できます。

建物におけるサステナビリティとエネルギー効率

先進国で消費されるエネルギーの50%近くは建物によると言われてしています。適切なガラス製品を選択することで、初期投資や維持費を節約でき、建物から排出されるCO₂の排出を削減できます。

当社のガラス製品は、グローバルな課題である建物のエネルギー効率改善やCO₂排出削減に取り組む上で極めて重要な役割を果たしています。それに加えて、高採光、創エネルギー、防火、防音、安全・防犯、プライバシー、装飾、セルフクリーニングシステムなどのさまざまな最新機能も提供し、より安全な生活空間づくりに貢献します。

オランダTNO応用科学研究機構が行った研究では、欧州内の全ての建築物にソーラーコントロールまたはLow-Eガラスが取り付けられれば、2020年までに年間最大で1億7,000万トンのCO₂排出量削減が可能であると報告されています。

断熱と遮熱

ガラスを使用することで、明るく快適な屋内環境を維持することができます。当社のガラス製造およびコーティング技術の進化によって、窓は、建物の採光と熱伝導をコントロールすることによりエネルギー節約と快適空間を創出するための重要な手段となりました。

低温気候下では、Pilkington **Energy Advantage™**のようなLow-E（低放射）コーティングガラスを使用することで、室内の熱を内部に反射して窓からの熱損失を抑え、採光量を大幅に減らすことなく大量の日射熱（パッシブエネルギー）を室内に取り込んで暖房効果を高めることができます。

高温気候下では、最新ソーラーコントロール用のコーティングガラスを使用すれば、可視光の大部分を透過させつつ、ガラスを通過する日射熱を最大75%まで反射・カットし、眩しさも軽減することができ、その結果、冷房負荷を低減することが可能です。

年間を通じてエネルギー効率を最大化するために、Pilkington **Solar-E™** やPilkington **Eclipse Advantage™**のような製品は、低放射と遮熱の2つの利点を提供することにより、最善のエネルギー効率を提供します。



撮影:ポーランドのグディニャにあるHosssa Office
Pilkington **Eclipse™** Arctic Blueが使われている。

Photo Credit: Wojciech Kryński

真空ガラス



撮影:英国のRedhouse 旧市庁舎、歴史的建造物としてグレードIIに登録されている。

真空ガラスは、2枚のガラスの間にわずか0.2ミリの真空層を作ることによって、優れた断熱性と遮音効果を提供します。

スペースシア®は当社グループが世界で初めて商業生産した真空ガラスです。一枚ガラスと同じ厚さでありながら、従来の複層ガラスと同レベルの断熱性を提供します。**スペースシア®**は、熱貫流率が低く(0.9W/m²K)、希ガスの充填が不要であるので、標準的な複層ガラスよりもライフサイクル全般にわたって消費エネルギーを大幅に削減することができます。

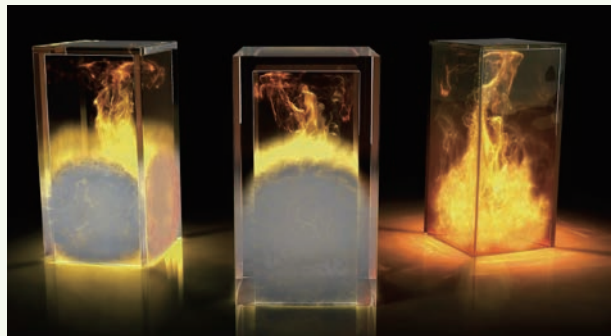
ワールドワイドにその販売を拡げており、特に、建造物の美観を維持することができるようにオリジナルの窓枠を保持できるため、歴史的建造物にも広く採用されています。

防火ガラス

耐火構造に劣る建築物は、持続可能であるとは言えません。火災による被害は生活や地域社会に、雇用の喪失および公共資産の破壊などの二次的損害をもたらす可能性があります。

しかし、透明性や光透過性に優れ、しかも断熱性、強度等の重要な耐火要件を兼ね備えたガラス製品を生むには、さまざまな技術的課題をクリアしなければなりません。

NSGグループの防耐火ガラス製品、Pilkington **Pyrostop®**とPilkington **Pyrodur®**は、世界中の様々なビル、海上および陸上輸送用の車両・船舶等に使われています。これらの製品は、当社が独自に開発した透明熱膨張中間膜技術を用いて製造され、遮炎性と遮煙性に加えて、熱移動も防ぐことができます。



撮影:NSGの防火技術のデモ

太陽光発電用ガラス



撮影:ALM Brandビル 建材一体型太陽電池(BIPV)パネルにPilkington **Eclipse Advantage™**, **Optifloat™**, **Optiwhite™**を使用

太陽光発電パネルは、その製品ライフサイクル全体を通して、製造時に使用されたエネルギー量の15倍を超える電力を発電することが可能です。NSGのガラスは、大手ソーラーエネルギー会社が製造するモジュールの不可欠の部材です。

NSGグループはガラスコーティングおよび低鉄ガラス組成の技術的リーダーであり、私たちの製品は太陽電池パネルメーカーがさらに効率的なモジュールを製造するのに役立っています。NSGの反射防止コーティングは、太陽エネルギーの透過を最大化するのに役立っており、透明伝導膜(TCO)付ガラスの**TEC™**製品は発電システムの一部に組み込まれています。

新しいALM Brandビルの正面には、建材一体型太陽光発電システム(BIPV)に組み込まれたPilkington **Planar™**パネルが誇らしげに輝いています。84枚の定点で固定されたBIPVパネルは、新しいビルの正面面積の10%を占めるに過ぎませんが、ビル全体のエネルギー消費量の5%に相当する41.5kWの電力を発電することが期待されています。

自動車用ガラス

自動車用ガラスのリーディングサプライヤーとしてNSGグループは、CO₂排出量削減、ソーラーコントロール、車両軽量化、空力特性向上を実現するガラス技術からリサイクルに至るまで、自動車メーカーがサステナビリティ関連の諸問題に対応するためのソリューションを提供することを目指します。

自動車業界では世界的にサステナビリティへの取り組みが急速に進んでおり、中でもCO₂排出量削減が重要課題となっています。低燃費型エンジンや電気自動車、プラグインハイブリッド自動車へのシフトにより、ソーラーコントロールや軽量化のための高度なガラス技術ソリューションが必要とされています。

自動車用ガラスのリーディングサプライヤーとして、高性能ソーラーコントロールガラス製造のための高付加価値技術を開発することによって、NSGグループはこれらの課題に立ち向かっています。私たちの目的は、自動車メーカーがそれぞれのサステナビリティ目標を達成できるよう、多くのソリューションを提供することです。製品製造時のエネルギー消費量の削減に加えて、製品ライフサイクル全体を通じたサステナビリティの実現に貢献することを目指しています。

NSGグループは、大手自動車メーカーや新規参入メーカーと連携し、環境に優しいデザインを採用した新モデルの開発に協力しています。自動車用ガラスは、透明でさえあれば良いというだけでなく、さまざまな機能を提供しています。そのため、ガラスの軽量化にあたっては質量を軽減するだけでなく、遮音性、堅牢性、密閉性、カメラ安全システム、ソーラーコントロールなども配慮して設計することが必要になります。当社グループは太陽光発電システムを搭載したルーフガラスを提供しています。このソーラーパネルは自動車への電力供給が可能で、既存電力源への依存が軽減されます。

軽量ガラス

NSGグループは軽量ガラスや軽量化グレージング技術に開発の重点を置いています。

環境に優しい自動車の重要性は、エネルギー効率の高いモデルに対する消費者のかつてないほどの要求の高まりを背景として、ますます増大しています。車体の軽量化設計は、自動車のCO₂排出削減とエネルギー効率改善にとって必須です。当社グループで開発を進めるガラス成形技術により、自動車メーカーは自動車に使用するガラス部材の質量を最大25%削減することが可能となります。

NSGグループは、シトロエンの新型C4カクタスに業界初の2.85mm厚リアガラスを供給しています。このガラスは当社グループの先進のプレス曲げ工法を用いて加工されたものです。

NSGグループはトヨタと協力して、先頃開催された第43回東京モーターショーで業界品質基準を満たす2.0mm(車外側)/1.0mm(車内側)の超軽量合わせガラスをフロントガラスのプロトタイプとして出展しました。



撮影:シトロエンのC4カクタスとトヨタのi-Road

ソーラーコントロールガラス



NSGグループの自動車用ガラス製品は、太陽が発する赤外線を吸収または反射する最新ソーラーコントロール性能を提供します。

車内の熱負荷の約30%はフロントガラスから侵入します。車内に侵入する熱エネルギーを抑制すると、自動車のエアコン負荷が減り、燃費が向上し、その結果CO₂排出量が削減されます。PilkingtonのEZ-KOOLR製品ラインは紫外線を最高99%までカットします。このため、米国の皮膚癌基金 (Skin Cancer Foundation) は効果的な紫外線対策としてその使用を推奨しています。

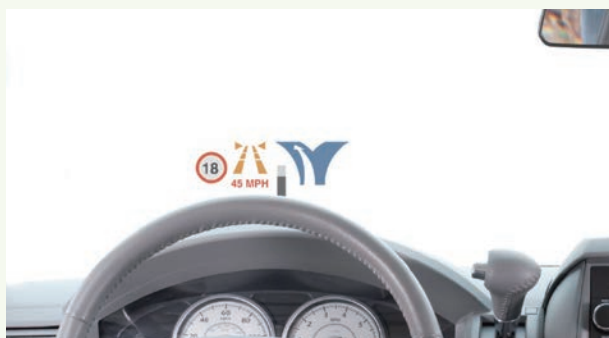
補修用ガラス

自動車のフロントガラスは、搭乗者の安全を守る重要な要素の一つですが、私たちはそれが壊れるまでその重要性をあまり意識しません。

一部が欠けたり、ひびの入ったフロントガラスは、視認性を低下させ、時間の経過につれていずれは自動車の構造物としての一体性を損なうことにもなりかねません。NSGグループの自動車補修用ガラス (Automotive Glass Replacement (AGR)) サービスは、世界中の自動車補修用ガラス事業者に広範な種類のOEM品質の補修用ガラスを提供し、新車と同じ品質のガラスに迅速に交換することを消費者にお約束します。



HUDとカメラシステム



自動ブレーキシステムのカメラやHUD (Head-Up Display) を取り付けることができるフロントガラスは、車載情報通信技術を高度化させる上で主要な役割を果たします。

車載情報通信システムは、車両・ドライバー間通信、車両間通信、車両・インフラ通信を通じて、安全性と快適性を高めることを目指します。NSGグループはHUD機能付きフロントガラスの市場リーダーであり、運転者が前を向いたままでいられるように、重要な情報をフロントガラスの運転者の視線の延長線上に表示することができます。同時に、当社グループのアンテナ設計技術は、次世代通信システムの開発もサポートします。

高機能ガラス

高機能ガラス事業部門の製品は、ディスプレイ、オフィス機器のLEDプリントヘッド、電気自動車やハイブリッド車向けバッテリーセパレータ技術、エンジンのタイミングベルト用部材や塗料などのガラス繊維製品などの製品分野で、省エネとサステナビリティに貢献しています。

NSGグループは、多様な分野で先進のガラス製品を開発する世界的リーダーです。ガラスはハイテク材料として、軽くて、丈夫で、難燃性に優れ、非導電性と耐薬品性を有するため、多くの可能性を秘めています。NSGグループの特許製品は、伝動ベルトに用いることで燃費を改善し、低出力LEDプリンターの部品としてこれの小型化や低消費電力化を可能にし、コーティングに用いることでビルや機器の耐久性を高めることができます。当社グループの超薄板ガラス製造における専門性を活かして、次世代型タッチスクリーン機器を開発することが可能です。

グラスコード使用のタイミングベルト

グループの高度なグラスコード技術によって、自動車産業界は次世代のエネルギー効率の高い自動車を開発することができます。

この技術は主に自動車エンジンのタイミングベルトに使用され、当社グループの独自テストで燃費の改善により、タイミングチェーンシステムと比べて、CO₂排出量を1.45g/km低下させることができますことが明らかにされました。この技術はまた、最新の電動パワーステアリング(EPAS)に採用されており、油圧システムと比べても燃費性能の向上とCO₂排出量の削減が可能です。

NGFの高張力(HTS)グラスコードは大幅にベルトの弾性と延伸抵抗を改善します。この先進の技術は革新的な「ベルトインオイル」システムに組み込まれ、エンジンのさらなる高度化を実現しました。このシステムにより、ベルト回転時の静粛性と効率改善が達成され、同時に従来のタイミングチェーンと同様の耐久性も実現しました。さらに、ベルトはエンジンの寿命が尽きるまで使用可能です。



撮影:「ビート・ザ・チェーン」キャンペーンの一部を構成するベルトインオイルの写真

耐食塗料



撮影:ブルジュ・ハリファードバイ

ガラスフレック製品は、保護膜、ポリマー補強材、耐熱性付与材、化粧品および装飾品等に应用されています。

マイクログラス®ガラスフレック™は耐食塗料に用いられ、実質的に水や化学物質の浸入を防止する層を形成し、保護膜の耐久性を25年に延長することができます。この技術は、ビルや、橋、洋上風力発電設備などの長年にわたって過酷な条件に曝されながら稼動する必要のある建築物を保護するのに用いられます。

世界一の超高層ビル、ドバイのブルジュ・ハリファは、NGFの顧客であるジョータン(Jotun)社が供給したガラスフレックにより強化されたポリエステルコーティングにより保護されています。

写真提供者:Hans Schwarzkopf

ディスプレイとタッチパネル

NSGグループは、小型LCDディスプレイ用超薄板ガラス(UFF®)の世界トップレベルのサプライヤーとして、ディスプレイ市場の低消費電力化に貢献しています。

厚さ0.3~1.1mmの超薄板ガラスを提供することができます。これらの製品は、成長するタッチパネル市場においても使用されています。タッチパネルはモバイルフォンやタブレット型PCへの搭載が増え、最近では車載用にも利用が広がっています。このテクノロジーにより周辺機器を追加する必要性が低下し、テクノロジーとのインターフェースがより自然になります。



LEDプリントヘッド



NSGはプリンターおよびスキャナー製造業の富士ゼロックス社と、オフィス機器の低消費電力化のための新世代発光ダイオード(LED)プリントヘッドを共同開発しています。

当社グループの独自技術であるセルフフォックレンズアレイ(SLAOR)を使った新型プリントヘッドは、小型、低消費電力、低騒音でありながら、標準的なレーザースキャナーと同等レベルもしくはそれ以上の画像品質を実現しています。これにより光学システムの小型化および製造コストの削減が可能となりました。

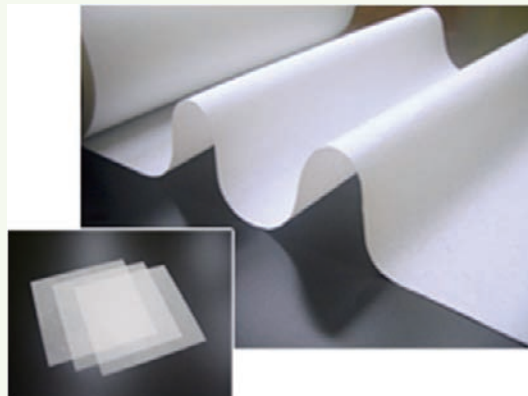
写真提供:富士ゼロックス社

バッテリーテクノロジー

NSGグループはバッテリーセパレータに使用される高性能ガラス製品の開発で世界をリードしています。

アイドリング中の燃費改善のため、最近の自動車に取り付けられるISS(アイドリング・ストップ・アンド・スタート・システム)には高吸収ガラス繊維マット(AGM; Absorbed Glass Mat)セパレータが使用され、これによりバッテリー効率が大きく向上しています。

NSGグループは、次世代電池の容量、安定性、出力、安全性向上を目的として研究・開発を行っています。厚さ30 μ m、空隙率85%を超える当社グループの極薄ガラスペーパー(SGP; Super Glass Paper)は、次世代リチウムイオン電池および燃料電池の開発を支えています。



撮影:極薄ガラスペーパー

環境方針と環境マネジメント

NSGグループは環境に対する責任を真摯にとらえています。事業を行う上で、全ての法的基準を遵守することは企業として最低限守るべき義務であり、それぞれの国や地域の法律や基準では問題の対応に十分ではないと思われる場合は、グループ独自の基準を適用して対応しています。

「NSGグループ環境ポリシー」は、環境問題に対するNSGグループのアプローチを定義し、現在の事業活動はもちろん過去の事業活動や買収先など他社から引き継いだ責任を含めた環境管理について定めています。NSGグループはこのポリシーに則り、当社の事業がもたらす環境に対するプラスの影響とマイナスの影響を確かな科学的根拠に基づいて予測・評価します。

NSGグループ環境ポリシー

ガラス製造業が環境に与える影響を避けることはできないことを認識した上で、環境への負荷をコントロールするシステムを整備し、負荷を最小限に抑えるための対策を講じています。一方、NSGグループの製品を使用することは、環境負荷の低減につながります。

NSGグループの環境マネジメントシステムは、その要となるものです。自動車用ガラス製品の製造拠点及び全てのガラス製造拠点が環境マネジメントシステムの国際的な規格であるISO14001の認証を取得しています。

私たちは、環境実績の良し悪しに関係なく必ず報告を行います。NSGグループが直接的な支配権を持つ製造拠点について、環境実績を観測し、報告しています。NSGグループは、各事業所の敷地、および、その周辺地域における過去の事業活動に関連した、さまざまな問題に関して、世界各国の規制当局との連携を図っていきます。

データ収集

環境・安全実績については現在、オンライン報告システム「Airsweb™」を使用し、グループ全体でデータを収集しています。このデータベースは、多言語での操作が可能で、NSGグループの全ての事業所が社内イントラネット経由でアクセスし、関連情報を毎月更新できるようになっています。

環境関連のデータは、エネルギー、大気中への排出量、水使用量、リサイクル、廃棄物などの項目ごとに集められます。これらの項目は、GRI(グローバル・レポーティング・イニシアティブ)ガイドラインの環境パフォーマンスの中核指標を参考にしています。

Airsweb™システムは、排出量や資源使用量のデータ収集システムであると同時に、災害報告システムとしての機能も兼ね備えています。この機能により、安全と環境に関する災害情報をタイムリーに報告・記録することが可能です。また、災害対応の進捗状況や是正状況を追跡できるほか、災害事例から学ぶべき事項を共有することが可能です。

当社グループは建物や自動車の省エネ製品を生産することで気候変動の緩和に貢献しています。

環境データのモニタリング

NSGグループは、定期的な業務モニタリングに加え、数々のデータベースを一元的に管理し、サステナビリティ分野における戦略の策定や高度なコーポレートガバナンスの維持に、これらのデータを活用しています。例えば、全ての溶解炉について、最新版の許可証や関係法令、環境負荷軽減能力のデータを保管し、業務上や設計上の変更が提案された際の評価に活用しています。

NSGグループは、革新的な取り組みを一貫性を持って実現するために、多分野にまたがる委員会を多数運営し、さまざまな変更案に対して評価・検討を行っています。ステージゲートプロセスを活用して、プロジェクトの開発や提案の各段階で適切な情報とリソースが割り振られるようにしています。これにより、経営リソース配分の最適化を図り、幅広いスキルを活用してイノベーションの促進を図っています。

ガラス溶解工程を有する工場に関しては、環境負荷の軽減に対する戦略的アプローチを明確にし、法規制が未整備である地域も含めて、世界中でグループ方針の遵守を徹底しています。

認証

NSGグループは、全ての製造施設においてISO14001を取得することを目指しています。現在世界中で81拠点が認証を取得しており、これは売上ベースで事業全体の70%に相当します。

当社グループの自動車用ガラス事業部門は自動車業界内でいち早く環境マネジメントの企業認証を取得しました。第三者試験認証機関TÜV SÜDマネジメントサービス社により認証された1件のDIN EN ISO 14001認証により、グループファンクションと世界各地の自動車用ガラス事業部門の事業所の大部分がカバーされます。

ガラス溶解工程と自動車用ガラス加工工程を有するイタリアのサンサルボ工場は、2014年10月、エネルギー管理の国際規格であるISO 50001認証を取得しました。これはすでに認証を取得している同工程を有するドイツの工場に続いての認証です。



イタリアのサンサルボ工場は、エネルギー管理の国際規格であるISO 50001を取得しました。

環境製品宣言

(EPD:Environmental Product Declarations)

環境製品宣言 (EPD) は、製品のライフサイクルを通じた環境への影響に関する情報を提供するタイプⅢ環境ラベルの認証プログラムです。

2014年5月、German Institute of Building and Environment (IBU) が、ISO 14025およびEN 15804に従い、Pilkington Pyrostop®およびPilkington Pyrodur®防火ガラスにEPD認証を与えました。建築士や建築プランナーは、建物の詳細なサステナビリティ評価を行うために、防火ガラスの信頼性の高い環境情報をスウェーデン環境管理評議会のウェブサイトから入手できます。

ピルキントドイツAG社は、防火ガラスにIBUロゴを付ける認可を受けています。宣言はIBUに掲載されており、請求すれば取り寄せられます。



防火ガラスの環境製品宣言 (EPD)

エネルギー使用

NSGグループは、ガラスの使用を通して最終的にはサステナビリティにプラスの効果をもたらすよう、全ての工程におけるエネルギー投入量を最小限に抑えることを目指し、継続的に取り組んでいます。

NSGグループのエネルギー使用

環境とコストに配慮し、ガラス溶解燃料に可能な限り天然ガスを使用するようにしています。2013年の天然ガス使用量は前年から10%減少しました。

天然ガスの次に多く使用する燃料は重油で、天然ガスが調達不可能な場合に使用しています。2013年の重油使用量は前年から7%減少しました。

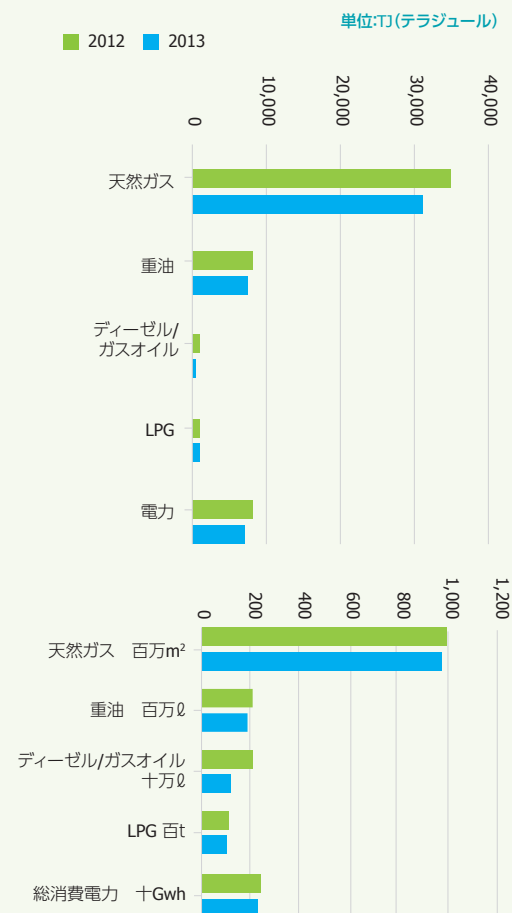
ディーゼル油と液化石油ガス(LPG)はフロート溶解炉の代替燃料として使用しています。また小型エンジンやボイラーにも使用されています。

2013年のディーゼル油使用量は、1,560万ℓで前年に比べて23%減少しました。LPG使用量は11,400トンで前年から変化はありませんでした。

2013年の電力使用量は8.1ペタジュール(2.3Twh)でした。

2013年にNSGグループが使用した総エネルギー量は48.59ペタジュール(13.5TWh)でした。前年と比べて8%減少しました。

NSGグループのエネルギー使用量(燃料別)

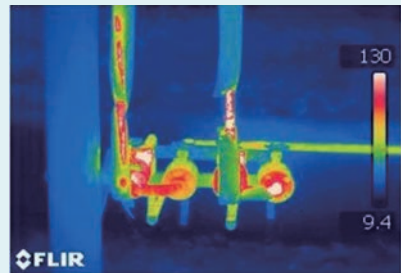


2014年NSG環境アワード

2014年NSGグループ環境アワードの最優秀賞は、舞鶴事業所の省エネプロジェクトが受賞しました。

重油およびガス燃焼ボイラーの操業最適化によって、燃料消費量を60%削減し、事業所の総CO₂排出量の2%削減に結びつきました。

今回のアワードには合計45の応募がありました。いずれのプロジェクトも、エネルギー、危険物、梱包、廃棄物など主要な環境課題に取り組んでいました。選定基準には、環境負荷の低減、広範囲の従業員関与、他事業所への適用可能性等が含まれます。受賞したいずれのプロジェクトも、当社グループの環境負荷低減、環境実績の向上につながりました。



撮影:蒸気配管、継手の断熱効果を調べるために、赤外線カメラで撮影をする作業員

エネルギー消費量削減に向けた取り組み

エネルギー管理システムの導入

当社グループのドイツおよびイタリアのガラス溶解工程を有する全ての工場がエネルギー管理の国際規格であるISO 50001認証を取得しました。エネルギー消費を消費項目別に細かく監視するために、サブメーターを導入しました。

従業員の意識向上

グループの全事業所を対象に、従業員の意識向上による省エネ推進プログラムが進行中です。生産工程のエネルギー効率の大幅向上を目指し、製造部門のチームが多数参加して、省エネプロジェクトの全社データベースを作成し、プログラムを進めています。

操業エネルギー効率化プロジェクト

製造革新部が主体となり、その他のグループファンクション部門がサポートする形で、当社グループの事業所で、95の投資額ゼロのエネルギー最適化テーマが進行中で、年間68,000トンのCO₂を削減することができました。大規模プロジェクトの一つに、溶解炉と徐冷窯のエネルギー消費量最適化があります。

各事業所の削減量をモニタリングした結果、1年間で合計CO₂29,000トン、電力54GWh、化石燃料200GWhを削減しました。廃熱回収施設を導入した結果、電力と天然ガスの消費削減となり、年間4,000トンのCO₂を削減しました。

電力サブメーターと高エネルギー効率の照明を複数の事業所に設置したことで、年間3,000トンのCO₂を削減しました。

川下加工拠点のカレット回収率を向上して、ガラス原料として再使用する量を増やすことで、3,000トンのCO₂を削減しました。

事業所内での再生可能エネルギーの生成と代替燃料

重油の代わりに廃棄物を原料としたバイオ燃料をガラス溶解炉で使うことで、年間8,000トンのCO₂の排出を削減しています。米オハイオ州のロスフォード事業所の研究開発センターでは、敷地内に太陽光パネルを設置し、センターの年間電力使用量の約7%を賄っています。ドイツのヴァイハマー事業所でも、事業所の屋根に太陽光パネルを設置しました。

サプライヤーと連携した省エネプロジェクト

主要サプライヤーと協力して、製造拠点のエネルギー消費量を削減するプロジェクトを立ち上げ進めています。各技術分野のトップ企業との密接な協力体制を通して、個々のエネルギー管理問題に最適な解決策を実行しています。例えば、イタリアと英国の事業所では、サプライヤーの協力を得て、旧式の電灯を最新省エネ照明システムに交換するプロジェクトが実施されました。このプロジェクトにより、電力消費量が半減し、将来にわたり発生するメンテナンス費も大幅に削減されることになりました。また、高効率コンプレッサーへの切り替えによる省エネ、フロートガラス製造工程で発生する廃熱の再利用、電力消費のピーク時間帯を避けた節電など、サプライヤーと協力してさまざまな省エネプロジェクトを進めています。

英国サプライヤーと連携した省エネプロジェクト



英国ピルキントン社とエネルギーソリューションプロバイダーとの提携により、英国の複数の生産拠点にまたがるいくつかのエネルギー管理プロジェクトを支援しています。今回の提携では、技術的なエネルギー管理のための資金調達ソリューションにも共同で取り組みます。

英国の生産拠点のエネルギー使用状況を共同で調査した結果、多数のエネルギー効率化テーマに繋がりました。倉庫にインテリジェントLCD照明システムを導入したり、設備駆動部に省エネ型可変ドライブシステムを採用することで、すでに大幅なエネルギー削減を果たしています。



カレットのリサイクル革命

最近当社グループのワトソンストリート事業所で、顧客へのガラス納入に用いる「フロートライナー」と呼ばれる専用車に載せて使うプラスチック容器への投資を行いました。戻ってきた顧客のカレットは埋め立てごみから一転、再度溶解することで、エネルギー消費量と原材料の分解を削減、年間3,000トンのCO₂排出を削減できました。



環境負荷低減の推進

ガラス製造はその工程で原料を高温で溶解し、大量のエネルギーを消費します。この工程で発生する大気への主な排出物は燃料の燃焼による生成物およびソーダ灰、苦灰石(ドロマイト)、石灰石の分析により発生するCO₂です。

大気への排出

NSGグループは、フロートガラスおよび自動車用ガラスの製造工程における環境への影響分析を実施しています。この分析によると、大気中への主な排出物はCO₂、窒素酸化物、硫黄酸化物です。また、量はかなり少ないものの浮遊微粒子物質も排出しています。

大気への排出は主に、原材料の溶解工程で燃料を燃焼させる際に発生します。NSGグループが燃料として主に使用する石油および天然ガスには汚染物質である硫黄成分が含まれます。硫黄成分の含有量は石油より天然ガスの方が低いため、できる限り天然ガスを利用するようにしています。重油には大量の硫黄成分が含まれています。特に日本で調達しやすい種類の重油には高濃度の硫黄成分が含まれているため、日本の溶解炉には高性能排煙脱硫設備を設置しています。このような燃料の燃焼により硫黄酸化物(SOx)が発生します。

Soxガスは排煙脱硫設備によってほとんどが有害性の低い硫酸ナトリウムとして回収されます。窒素化合物は燃料を燃やす工程において空気の燃焼により生じます。ガラス製造は高温で行われるため、空気の燃焼によって窒素が酸化し、窒素酸化物(NOx)となります。



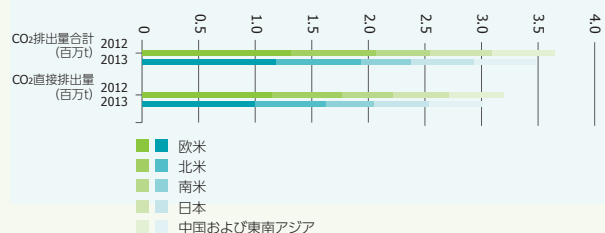
CO₂排出のモニタリングと削減

2013年にNSGグループでは、直接排出と間接排出の合計で420万トンのCO₂(前年比7%減)を排出しました。

そのうち直接排出は320万トンでした(前年比で9%減)。ガラス溶解炉から直接排出されるCO₂と自動車用ガラス事業と建築用ガラス事業の曲げ・強化炉で使用される燃料から排出されるCO₂を合わせています。EU域内排出量取引制度に基づく第三者機関による検証を受けたデータによれば、欧州では2013年のCO₂直接排出量は、前年から21%減少しました。これはエネルギー効率化プロジェクトと、事業所の閉鎖によるものです。

当社グループでは、重油から天然ガスへとフロート溶解炉の燃料の切り替えが進んだことにより、過去40年間でのCO₂の排出量をほぼ半減することができました。設計・運用上の技術革新により、さらに削減が進んでいます。

NSGグループのガラス溶解によるCO₂排出量



カレット利用で燃費効率向上と排出削減

リサイクルガラスは貴重な資源です。許容範囲の品質であれば、切り落としたガラスやカレットは全てガラス溶解ラインに戻してリサイクルしています。川下加工拠点や顧客から回収したガラスは、私たちにとっては有益な資源です。

カレットの利用には二重のメリットがあります。ガラス製造に必要な原材料を削減できることに加え、廃材になるはずのものを廃棄せずに済み、ほぼ完全なリサイクル・ループを実現しています。原材料の10%にカレットを利用すると溶解炉のエネルギーを3%節減でき、その結果CO₂排出量の削減につながります。

2013年、NSGグループは40万7,000トンのガラスをリサイクルし、12万5,000トンのカレットを外部から購入しました。また、リサイクルできずに廃棄処分したガラスは1万1,000トンでした。

先頃、当社グループの1事業所で原料が100%カレットのガラスを製造しました。省資源化のため、世界各国で継続してガラスカレットの回収・リサイクルを推進しています。

廃棄物

ガラス製造工程そのものは非常に少量の廃棄物しか出しません。切断したガラスの端材は全て再度溶解されてリサイクルされます。そのため、メンテナンスから生じる廃棄物、配合不可能な規格外の原材料、梱包材のみが廃棄物となります。

サンサルボ事業所では、原材料を削減しながら廃棄物処理にかかる費用も削減しました。NSGテクニカルセンターの技術専門家がイタリアの窯作業員を支援して、排ガス処理施設で回収したセレンを含有する粉塵のリサイクル方法を開発しました。以前は埋立て廃棄されていた粉塵が現在は原料として再利用され、新しい原材料の使用を減らすことができました。

NSGの欧州テクニカルセンターのオンラインコーティング研究グループの技術者たちは、英国グリーンゲートのオンラインコーティング加工の条件を最適化し、排ガス処理施設で回収した副産物を再利用する方法を開発しました。その結果、原材料の消費を抑えて工場の操業状態を改善すると同時に、副産物は販売できるほどのレベルに価値が高まりました。このプロジェクトでは排煙の規制基準を常に意識し、環境規制値をはるかに下回る中和ガスを安全に放出しています。NSGグループは欧州、アジア、北米で同様のコーティング設備を操業しているため、このプロジェクトの成果は広く適用可能です。

グループ内の工場で再溶解できないガラスは、可能な限り、外部業者にリサイクル処理を依頼しています。NSGグループは優先順位に従って廃棄方法を決定しています。その中で、埋め立て処理はそれ以外の選択肢が利用できない場合の最終的な廃棄手段となります。2013年にNSGグループが処分したガラス以外の廃棄物は3万4,000トン(前年比8%減)でした。そのうちの有害物質1,803トン(前年比59%増)、非有害物質1万9,200トン(10%減)を埋め立て処理しました。2013年に廃棄処分した有害物質は5,335トン(前年比18%減)でした。

自動車用ガラスについては、調達した全ての原材料のデータを、世界規模の自動車産業向け環境負荷物質情報システムIMDS(International Material Data System)に登録しています。これにより、原材料の成分が一目わかり、有害物質、リサイクルの可能性なども確認することができます。このデータは、顧客である自動車メーカーも閲覧可能で、顧客企業のリサイクルへの取り組みにも役立っています。平均的な自動車の部品・材料にガラスが占める割合は3%前後です。NSGグループは、自動車用ガラスに使用されるガラス、インク、はんだなどの部材に含まれる有害な原料の廃止に積極的に取り組んでいます。

PVBIは、主に自動車のフロントガラス用の合わせガラスの中間膜として使用されます。合わせガラスの端から裁断されるPVBIは、PVBサプライヤーに戻され、製造工程でリサイクルされます。2013年には約2000トンのPVBがサプライヤーやリサイクル業者に回収され、再利用されました。

水

ガラス製造工程では、水は徐冷工程で使用されますが、ほとんどの工場は水循環システムで稼動しており、補充する場合のみ必要になります。また、工場内でガラスを洗浄する際にも水が使用されます。ここでは純度の高い水が必要となり、浄化処理後に再利用されます。産業排水の処理業者と協力し、排水のリサイクルを実施するとともに、最新の水処理施設を導入して、水の使用量を最小限に抑えるよう勤めています。これは、水の使用量が減るだけでなく、水処理に使用される化学物質の使用量を削減する効果もあります。

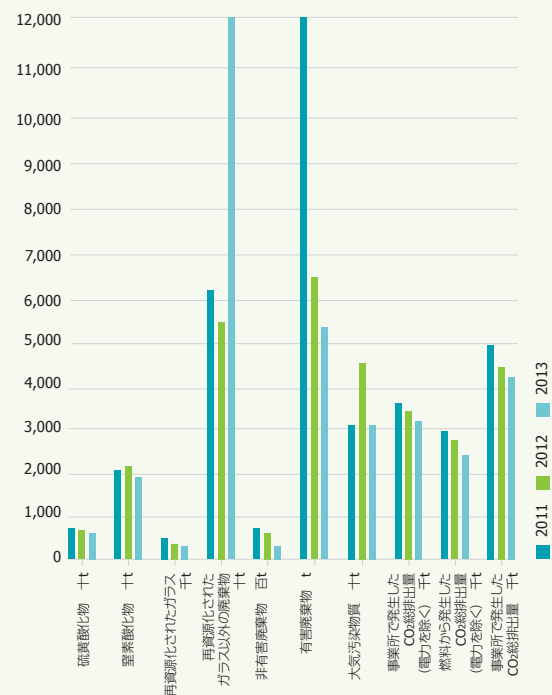
グループ内でも、工程や製品の違いや、水質の違いにより、水の使用量は大きく異なります。通常は、フロートガラス1トン当たりの製造に最大2m³の水が必要となり、自動車用ガラス製品の加工に1m²あたり最大90ℓの水が必要となります。

2013年の水総使用量は、1,890万m³で、前年比で6%減少しました。

木材

欧州では、多くの場合、ガラスは梱包されずに「フロートライナー」と呼ばれる専用車で輸送されます。この車では大型ガラスをスチール製の台に乗せ輸送しますが、製品を梱包する必要はありません。欧州以外では、ほとんどの場合、ガラスを木製の箱で輸送しています。これらの木箱に使用する木材の多くは持続可能な森林で調達されていますが、これを全世界で保証できるまでには至っておらず、今後改善すべき課題であると考えています。さらに、サプライヤーと協力して再利用可能な木製梱包材の設計に取り組んでいます。

2013年のNSGグループの主な排出物



従業員

NSGグループの経営理念の根幹をなす理念は、「事業は人なり」です。全ての事業活動において安全・品質・環境に対する責任を第一に考え、雇用方針の柱として「オープンなコミュニケーション」を推進しています。

NSG行動規範

NSGグループの「行動規範」は、全ての従業員に求められる行動を規定したものです。NSGグループの「経営理念と行動指針」に基づき、中でも安全や、人権の尊重、主体的行動、オープンで積極的な従業員の参画を促すコミュニケーションを重視しています。

行動規範の根幹を成す原則は、そうした活動をNSGグループが安全かつプロフェッショナルに、法に則って倫理的に行うこと、企業の社会的責任およびサステナビリティを、身をもって示すことです。この行動規範では、可能な限り、公正で良識ある事業への取り組み方とは何かを明確に定義しています。また項目によっては法規制による厳格な要求に基づいて定められているものもあります。

行動規範では、国際的に宣言された人権を尊重することを明確にしています。当社グループはこの人権尊重の考え方に沿った雇用方針・雇用慣行をグループ全体で適用することにより、従業員の公正な取り扱いを保証しています。NSGグループの機会均等および多様性に関するポリシーはダイバーシティ(多様性)を尊重し、人種、皮膚の色、信条、宗教、年齢、性別、性的指向、国籍、障害の有無、労働組合への加入、政治的所属、法で保護された地位等を理由とする差別の禁止を目的としています。このポリシーは雇用関連の決定を行う際に必ず適用されます。人権に関する当社グループの最高責任者は、最高人事責任者(CHRO)です。

エンployeeエンゲージメント

NSGグループは社内コミュニケーション体制を確立しており、事業部門ごとに定期的にかスケード方式で情報や説明を提供し、双方向のコミュニケーションを促進する仕組みを整備しています。これにより従業員は、グループおよび自分が勤務する事業所の事業方針・目標・業績はもちろん全社レベルのベストプラクティスなど、常に最新情報を知ることができます。たとえば、各事業部門長は従業員向けに事業概況を説明するメッセージを毎月発行しています。NSGグループでは社内報「MADO」世界版を各国語に翻訳の上、年3回発行しています。MADO世界版の他に、事業規模の大きな国には、MADO国内版もあります。NSGグループでは、地域の状況や要件に応じて、グループの事業状況および今後の計画について、組合や従業員代表向けに会社が説明を提供し、協議する仕組みが整備されています。

NSGグループは2014年従業員意識調査を9月に全世界で実施し、90%の回答率を得ることができました。この調査は、オープンなコミュニケーションおよび全ての従業員に当社グループで働く経験をフィードバックする機会を与えるという企業理念に則って行われました。この調査は、従業員が懸念事項を提起し、NSGグループのポリシーに影響を与える絶好の機会です。組織の各レベルの管理職チームがアクションプランを策定し、従業員が職場での満足度とモチベーションを向上させるための最優先事項として指摘した様々な分野の改善に取り組んでいきます。詳細は来年のサステナビリティレポートでご紹介する予定です。

タレントマネジメント

NSGグループの成功は、世界中の従業員の能力と努力にかかっています。

当社グループは、事業目標の達成に向けて、柔軟かつ有能な意欲のある従業員を育成できるよう、従業員一人ひとりの潜在能力を最大限に引き出すことに力を入れています。潜在能力の高い従業員は、将来戦略や事業計画を策定することになる未来の上級管理職です。リーダーシップやマネジメントに関する人材育成施策により確実にサポートする必要があります。2014年も引き続き、人材管理・育成プロセスの実施と調整に重点的に取り組み、当社グループの人材の参画、特定および育成に努め、業務管理のためのチャレンジ目標とストレッチ目標を設定し、適切な人材を後継者育成計画の候補に選び、彼らに対してキャリア育成計画を実施してきました。

タレントマネジメントライフサイクル



NSGマネジメント育成プログラム

上級幹部候補生向けプログラム(ED2)

このプログラムは、管理職が通常のオペレーション管理の役割から、上級幹部としての戦略管理の役割を担うことができるように成長するのに必要なリーダーシップの違いについて洞察力を与え、必要な能力を身につけさせることを目的としています。プログラムはトップレベルの国際ビジネススクールであるINSEAD(インシアード)と提携して提供し、参加者が、戦略開発やグローバルリーダーシップに関する最新の考え方や研究結果を学ぶことができるようになっています。

2013年11月、世界中から派遣された24名が、英国クラネージで行われたプログラム第1部に参加しました。このプログラムのポイントは、机上の理論を実際のNSGの経営課題に当てはめるところで、ED2ではプロジェクト作業を通じて学習した内容を浸透させていきます。派遣された従業員はグループで作業を行い、コンサルタントとして現在NSGが実際に直面する事業上の課題や戦略上の課題を調査し、提案を行います。これにより参加者はプログラムで学んだことを実際に試してみるだけでなく、自身のこれまでのキャリアで経験してこなかった事業部門やグループファンクションの機能のある程度深いところまで知る機会を得ることもできます。4チームそれぞれが事業上の課題を選び、アクションラーニング・プロジェクト(ALP)として取り組みました。研修参加者は2014年5月に当社グループ東京本社で開催されたED2第2部で再会して、上級経営陣に取り組み結果を報告しました。

事業部門合同コマースリーダーシッププログラム

これは、NSGグループの営業マネージャーを対象とした独自のプログラムで、2013年に自動車用ガラス補修事業部門で試験的に開催しました。この成功を受け、このプログラムを事業部門合同プログラムとして2014年を通じて全地域で開催する予定です。

プログラムは、最先端のコマースおよびビジネス専門スキルの育成とリーダーシップ開発を組み合わせたもので、特に急速に変化する市場での顧客ニーズに主眼を置いた構成になっています。主な目的は、急速に変化する市場需要を予測し、迅速に対応するためのスキルとツールを営業マネージャーに身につけてもらい、効果的な営業戦略を実行することにより、事業に最大限の価値をもたらすことです。

このプログラムは、主要管理指標や当社グループの事業部門が各地域で直面する主要な事業発展要因と課題に即して、外部コンサルタントが当社グループの上級営業マネージャーと密接な協力の下、当社グループの事業、顧客、市況に合わせて設計されました。

「製品の品質や営業チームの専門知識については、当社はすでに多くの顧客から高い評価をいただいておりますが、我々が持つこうした強みを顧客に対して積極的にアピールして、実際の注文に確実に繋げていくことが必要です」とTim Ferwerda 自動車用補修ガラス用部門欧州事業部長は言います。「そのためには、顧客の立場を理解し、顧客に役立つソリューションを提案することが大変重要になってきます」。

1週間にわたる研修では、参加者に各事業部門が地域で直面している課題を反映した事業プロジェクトが与えられ、研修で学んだことを基に解決策をチームごとに策定し、上級経営陣を前に各チームによるプレゼンテーションを行います。上級経営陣は、その後、プロジェクトへの今後の投資・推進を承認するかどうかを決定します。

NSGグループの女性管理職の割合

(2013年12月31日現在)

アジア	3.4%
欧州	19.5%
北米	18.0%
南米	6.1%
NSGグループ	12.0%

NSGグループ従業員分布図

(2014年3月31日現在)



2014年度

- 自己都合退職による離職率は6.2%
- 各NSG従業員が受けた研修日数は2.6日
- 無断病欠率は2.7%

従業員は28カ国に27,000人、25以上の言語を話します。



日本での営業リーダーシッププログラムでイノベーションの課題に取り組む参加者たち

安全・衛生

当社グループの安全プログラムは、自らの安全は自分で守ることおよび安全な行動を適切に取ることに重点を置いています。管理職は当社グループの安全リーダーとして重要な安全行動を取ることを常に心がけ模範を示します。

安全実績

昨年の重大災害数は131件でした(そのうち60件は休業災害となりました)。2014年3月期の重大災害度数率(SIR)値は0.39と、安全実績が前年比同一条件下で19%改善したことを示しています(ただし2014年3月期に売却した子会社を除く)。

以下の高リスク作業の安全対策に継続して重点的に取り組み、NSGグループは2013年および2014年に死亡事故を起こしませんでした。

- 車両と歩行者の安全
- 機械安全:ガード、FASS*、アイソレーション
- 請負業者の安全(許可証含む)
- 重量物の運搬:ガラスの移動、安全な荷の搬送、ガラス搬送装置、台車・パレット
- 運転

*頻繁なアクセスのある装置に対するインターロックなどの安全保護策

安全組織と戦略

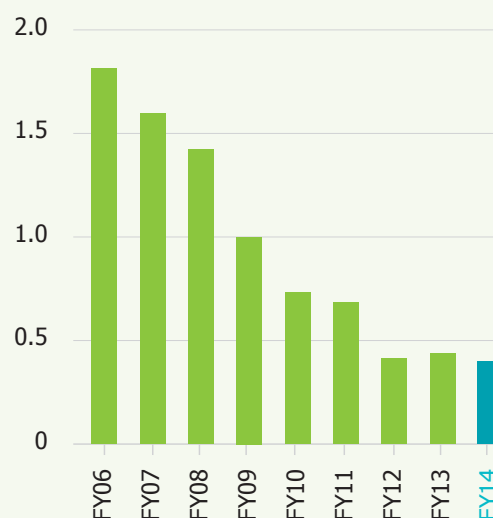
NSGグループのサステナビリティ統括部長は、最高執行責任者(COO)の下に配置しました。安全実績の最新データを毎月提供するとともに、半年ごとに4つの事業部門の部門長とグループファンクションの部門長で構成されるシニアオペレーションチームでより詳細な安全実績のレビューを行います。安全実績レビュー会議が2013年3月にドイツ・ゲルゼンキルヒェンで、2014年9月にポーランドで開催されました。

安全を次の段階に進めるために

安全に関する戦略は従来通り、安全管理ツールとプログラムの有効性の改善に焦点を当てています。NSGグループでは安全性を次の段階に向上させるために、以下の取り組みを行いました。

- より一貫性のあるアプローチの推進、安全に関するスキルの育成、教訓の共有の強化を目的とした、環境安全衛生部門による安全管理ツール監査の実施。これらの安全監査はその効果を最大化するために、監査対象の地域や事業所以外の環境安全衛生部門の担当者によって実施されました。
- 安全文化を継続的に変革する手段として従業員の積極的参加の推進。
- グループ全体の安全リーダーシップ水準の向上を目的とした現場監督者の教育。

従業員の重大災害度数率(SIR)の推移



2014年3月期の子会社売却により、データを改訂



ヴァイハマー(ドイツ)「聞いて!(Listen to me!)」プロジェクト
ヴァイハマー事業所の安全プロジェクトが、ドイツの傷害保険協会より2014年安全アワード銀メダルを受賞しました。

職場の騒音に関する取り組み。安全への感性を高めるプロジェクトとして実習生が提案した素晴らしい例です。騒音の発生による危険について従業員全体の意識を高めるため、安全の日に導入ビデオと演劇を上演しました。

AKIRA fotografie - www.akirafotografie.de

NSGグループ安全の日

NSGグループ安全の日が2014年10月16日に開催され、今回も世界中で盛況なイベントとなりました。全ての事業所で応急処置、消防、緊急時対応などの従業員参加型の安全活動も開催されました。

当日は、各事業所で開催されたイベントに上級管理職が出席し、この日に向けた自らの意気込みを示すとともに、優秀な安全実績を上げた個人・チームに対する表彰が行われました。



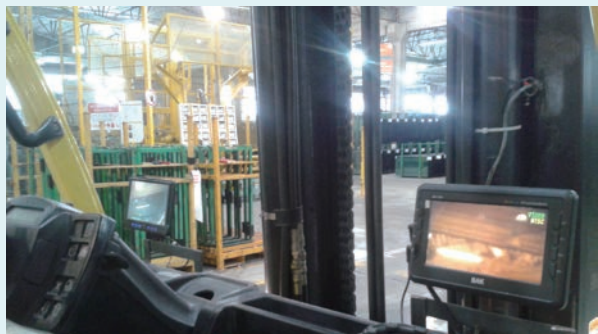
安全の日北米シェルビービル工場を訪問する吉川恵治氏

2014年度NSGグループ安全アワード受賞者

ブラジルのセッティモ・カサパ両事業所の合同チームが、2014年度NSGグループ安全アワードを受賞しました。

受賞作は、ガラスを積んだパレットを運ぶフォークリフトにスポットライト、カメラ、ディスプレイを搭載する取り組み「カメラシステムによるパレットの安全運搬」です。このシステムによりドライバーの視認性を高め、パレットが正しい位置に固定されているかを確認しパレットが傾くリスクを最小限にとどめることが可能になります。審査員が特に評価したのは、既存のフォークリフトに新システムを搭載する上で、重大なリスクを低減する活動と、信頼性、実現可能性の三点をキーポイントと位置付けて取り組んだところです。さらには実際に設備を使う従業員の協力を得た上でシステムを開発し、テストを行って導入したところも評価されました。

今回の応募総数は183件でした。安全への取り組みがどのように達成されているかを見ることができました。評価の基準は、リスクが大きく減っているか、従業員が多く参画しているか、他事業所への展開が可能か、刷新性があるか、でした。



ポーランドのフミエルフ工場の歩行者安全プロジェクトが安全衛生アワードを受賞

NSGで一番新しいポーランドのフミエルフの自動車用ガラス新車用部門工場の従業員の安全への取り組みが、安全衛生アワード第1位を受賞しました。当社グループの安全プログラムの一環として、同工場の歩行者安全プロジェクトが、ポーランドの安全衛生機関に認められました。「Workplace Environment Improvement Competition (職場環境改善コンテスト)」の技術・組織ソリューションの部で表彰されました。



プリモ工場の全国イタリア安全アワードを受賞するサンサルボ事業所の従業員

プリモ工場が、イタリアの価値ある安全アワードを受賞しました。このコンテストは、イタリアの業界団体、National H&S Insurance Companyおよび認証評価機関のACCREDIAによって設立されました。イタリア企業150社が参加し、安全性の向上についての監査が行われました。受賞企業は、過去3年間の安全活動および投資KPIの向上をアピールしました。

顧客

最高の品質と最高のサービスは、顧客企業やエンドユーザーとの関係を構築する上で最も重要な要素です。当社は、お客様に製品を安全に取り扱い、施工、使用していただけるよう、製品の使用時の安全確保についても万全を期しています。

私たちはお客様に選ばれるサプライヤーになることを目指しています。そのためには全ての事業において最も効率が良く、最も信頼性が高く、最も対応力があり、最も持続可能なサプライヤーになる必要があります。全ての事業分野で、効果の高い、革新的かつ持続可能な製品を生産することを目標としており、そのための製品およびプロセスの開発に研究開発の重点を置いています。

「最も効率の良い」とは、競争力のある価格で製品を提供し、生産加工の過程で消費する資材やエネルギーを最小限に抑えることです。

「最も信頼性が高い」とは、お客様の注文に応え、約束した品質の製品を全数、納期を遵守し、品質問題や手続き上のミスをせずに毎回お届けすることです。

「最も対応力がある」とは、お客様はどのような手段で連絡しても、当社からすぐに回答を得られるということです。つまり、常にお客様の要望を最優先に対応できるサプライヤーであるということです。

「最も持続可能な」とは、原材料の調達から始まり、製造、輸送、納品に至るまでのサプライチェーンの全てに、高い基準を設定し、それらを遵守するということです。また、企業としての長期的な存続を確かなものとする良好な財務業績を達成することも重要です。

製品に対する責任

NSGグループは、社会、環境および安全面で高い効果を発揮する製品やサービスをお客様に提供することを目指しています。当社グループが行っているお客様への支援やサービスは、お客様がリスクを特定・軽減することや、市場のサステナビリティに対する課題認識を高めることに役立っています。当社は、お客様に当社製品を安全に正しく取り扱い、施工・使用していただけるよう、製品の使用時の安全確保についても万全を期しています。その中には、作業者の安全に配

慮した、かつ、品質や強度を損なわない自動車のフロントガラスの正しい取り付け方も含まれています。

アルゼンチンでのエコガラスの製造・販売の経験に基づき、NSGグループはブラジルでも同じ取り組みに着手しました。複層ガラスを使用することの利点に関するお客様の意識を高めています。お客様に供給するガラス製品のエネルギーおよび音響効率を大幅に向上するために、生産技術の大きな改善を促すのが目的です。



最高品質

品質は、顧客企業やエンドユーザーとの良好な関係を構築する上で鍵を握る要素です。

品質はまた、高品質であればサプライチェーン全体での無駄がなくなり、生産効率が向上することから、サステナビリティを推進する上でも極めて重要な要素となります。品質には、設計、開発、製造、納品、組立、ガラスの価格、カスタマーサポートまでが含まれます。NSGグループは、厳格な品質管理システムおよび品質管理基準により高品質を実現しています。

建築用ガラス事業では、欧州、日本、北米、南米で品質管理の国際規格であるISO 9000:2000認証を取得しています。

建築用ガラス事業部門(欧州)は、欧州における建築用ガラス製品の基準の策定に中心的な役割を果たしています。これらの基準は、ガラスメーカーがEU建築物指令に準拠した製品を作るために設けられたもので、NSGグループの建築用ガラス製品のほぼ全品が対象になっています。

マレーシアンシートグラス社は優れた品質保証と期日内納品実績が認められ、トヨタの2014年UMWT - SPLDサービスパーツ・サプライヤー・パフォーマンス・アワードを受賞しました。



製品イノベーション

NSGグループは、「ものづくり」とイノベーションにおける世界のリーディングカンパニーです。とりわけ、ガラス溶解、フロート製法によるガラス形成、オンラインコーティング、自動車用フロントガラスやリアガラスなどに用いられる複数形状形成技術においては、業界トップレベルの優れた技術力を持っています。2014年3月期の当社グループの研究開発費は78.8億円でした。

NSGグループでは、フロートガラスの製造および加工、自動車用ガラス、IT分野で使用されるガラスを中心に約4,000件の特許を取得または申請しています。また、他企業などが開発した技術などについてもライセンス契約に基づき、利用可能なものがあります。

さらに、オンラインコーティング、自動車用ガラスのエンキャプシュレーションや降雨感知センサーなどの分野では、当社グループが保有する特許や技術の一部を当社の定める基準を満たした企業にライセンス供与しています。

英国ピルキントン社は、ストーンヘンジのビジターセンター向け事業で「G14 Commercial Project of the year Award」を受賞しました。

このガラスパビリオンの背景にある考えは、建物の内装と周囲の息をのむような景色を一体化させることでした。

建築士は、内装を外から見えるようにして集客すると同時に、さらに重要な点として、中にいる人から外の景色ができるだけ明るく、自然な色合いに見えるようにしたいと考えました。

見た目はほとんど支えがなく建っている繊細なガラスの壁のようでありながら、実際の仕組みはかなりの構造強度があります。

当社グループのガラスの使用により、最大量のエネルギーと光が建物の中に取り入れられ、館内を暖めることができるのと同時に、熱損失量を最小限に抑えることができます。その結果、エネルギー効率を犠牲にすることなく、圧巻の景色とパビリオンいっばいに差し込む光を、センターを訪れた人たちに楽しんでいただいています。



ストーンヘンジビジターセンター—世界遺産遺跡

自動車エンジニアの車両設計方法を変える可能性のあるフィラメント径の小さいガラスコードの設計と製造が評価され、NGFヨーロッパ社が、英国のビジネス界で最も名誉ある「Queen's Award for Enterprise in the 2014 Innovation Category」を受賞する名誉を受けました。

ゴムラテックスコーティングを施したこの製品は、優れた耐油性を有し、エンジンオイルの中の環境下でもタイミングベルトの補強材として使用できます。タイミングベルトは金属チェーンと比較し、自動車のエンジンの静粛性、CO₂排出低減、燃費向上に優れています。研究開発チームの成果と、技術開発およびものづくりへの当社の真摯な取り組みならびに商品化の成功が認められての受賞となりました。



女王の代理人から、栄えある「Queen's Award for Enterprise in the Innovation category」の表彰を受けるNSGヨーロッパ社

NSGグループの複層真空ガラス「スぺーシア21®」遮熱クリアタイプが、このほど、平成25年度省エネ大賞(製品・ビジネスモデル部門)において、省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。「省エネ大賞」は、優れた省エネ活動事例や技術開発等による先進型省エネ製品等を表彰することで、省エネルギー意識の浸透、省エネルギー製品の普及促進等に寄与することを目的とします。



「スぺーシア21®」が省エネ大賞を受賞

サプライヤー

私たちは、世界中の20,000社を上回るサプライヤーから原料や部材、サービスを調達しています。サプライヤーの皆様は当社グループの基準を理解し、遵守していただくために、「NSGグループサプライヤー行動規範」を制定し、サプライヤー監査を実施しています。

「持続可能な購買プログラム」の一環として、「サプライヤー行動規範」を制定しています。当社グループがサプライヤーの皆様は期待する基準として、遵守すべき行動、プロセス、手順を定めています。適切なアカウントマネージャーがサプライヤーとの窓口となる場合もありますが、いずれの場合も購買部門は、適切な契約が締結されて、関係者に周知されるようにする責任を負います。

当社グループでは、製品製造の過程で使用する原料、部材、サービスを約20,000社の現地サプライヤーまたはグローバル・サプライヤーから購入・調達しています。そのため、当社グループのサステナビリティに向けた目標の達成には、サプライヤーの皆様が極めて重要な意味を持ちます。当社グループは、優れた品質のガラス製品を製造しお客様に提供するため、信頼と協力とサステナビリティの考え方に基づき、サプライヤーの皆様との強固な関係構築を目指しています。

「サプライヤー行動規範」の概要

「サプライヤー行動規範」には幅広い項目が含まれていますが、これはサプライヤーの皆様が従事する事業活動が多様であるためです。本行動規範は、現時点で可能な限り、公平で良識ある事業活動への取り組み方を示すものであり、関連する法律の要求事項も織り込んでいます。

本行動規範の内容は、当社グループの「経営理念と行動指針」にも基づいています。中でも重視するのが、安全、行動への当事者意識、オープンで積極的なコミュニケーションです。当社グループの求める要件を満たすために本行動規範に定める原則を遵守することが、全てのサプライヤーの皆様は責務として求められています。

サプライヤー監査

2011年から2015年までに、主要サプライヤー約300社を対象に監査を実施する予定です。

当社グループは、主要サプライヤー全社について監査を実施し、その中から環境負荷の特に高いサプライヤー全社に対して追加的なデューデリジェンスを実施するという目標を達成するために、外部サービスプロバイダーのサービスを活用しています。

サプライヤーへの期待

NSGグループは、サプライヤーの皆様はサプライチェーン全体を通じて、高い水準を達成、維持することを期待しています。特に重視しているのが以下の事項です。

倫理的行動 — サプライヤー各社には、高いプロ意識と倫理観を持ち、誠実公正に行動することがその責任として求められています。

社会的行動—職場における人道的配慮 — 全てのサプライヤーには、国際労働機関 (ILO) が定める国際労働基準を遵守することが最低限求められます。

環境への配慮 — サプライヤーは、環境負荷軽減にあたり極めて重要な役割を担っています。サプライヤー各社には、環境保護についても、ベストプラクティスの継続的な追及を通して、豊かで持続可能な未来を創出する役割を果たすことが求められます。

サプライヤー監査 — サプライヤー監査の一環として、「サプライヤー行動規範」への各社の遵守状況について確認を行います。エンジニア15名で構成されたサプライヤー開発チームが、全ての地域のサプライヤー監査を担当します。基準を満たしていないサプライヤーについては改善に向けた指導やサポートを行っています。

サプライヤー各社には、自らのサプライヤー、協力会社および下請け先にも、同じ基準の遵守を求めることを期待しています。また、要請された時に提出できるように、遵守の確証を整備するよう求めています。

環境への負荷

2010年に当社グループは環境負荷が特に高いサプライヤーの特定を開始しました。当社グループのサプライヤーが環境へのマイナスの影響を最低限に抑え、環境保護プログラムに積極的に取り組むようにすることが目標です。対象とする購買カテゴリーは、木製梱包材、ガラス原材料、廃棄物処理業者、化学薬品などです。これらの分野のサプライヤーにはISO14001またはそれに相当する環境認証を取得していることを求めています。

また、木製の梱包材に関しては使用される木材のCoC認証(Chain-of-Custody:認証された森林の木材を製品の製造・加工・流通の全ての過程で使用していることの証明)の取得を求めています。

現在、当該分野のサプライヤーの60%以上が環境認証または木材に関するCoCを取得しています。基準に満たないサプライヤーには再度監査を実施し、改善策を講じていただきます。改善いただけない場合には、取引を停止させていただきます。

サプライヤーと連携した省エネプロジェクト

購買に関する活動やプロジェクトは、NSGグループのサステナビリティに対する取り組みを実証する機会となります。ベストプラクティスはグループ購買部の各カテゴリーチームを通して共有され、NSGグループ全体に発信されます。グループ購買部のグローバルな組織体制を活用し、ベストプラクティスを効果的、効率的に展開しています。

主要サプライヤーと協力して、製造拠点のエネルギー消費量を削減するプロジェクトを立ち上げています。各技術分野のトップ企業である各社との密接な協力体制を通して、個々のエネルギー管理問題に最適な解決策を実行しています。

例えば、イタリアと英国の事業所では、サプライヤーの協力を得て、旧式の電灯を最新省エネ証明システムに交換するプロジェクトが実施されました。このプロジェクトにより、電力消費量が半減し、将来にわたり発生するメンテナンス費も大幅に削減されることになりました。また、高効率コンプレッサーへの切り替えによる省エネ、フローとガラス製造工程で発生する廃熱の再利用、電力需要のピーク時間帯を避けた節電など、サプライヤーと協力してさまざまな省エネプロジェクトを進めています。

コミュニケーションと協力

NSGグループは「サステナビリティポリシー」に従って、サプライヤー、政府、規制当局、学会、その他関連するステークホルダーと必要に応じて連携をとり、建設的に協力し合い、持続可能な発展という共通目標に向かって進展をもたらすような、企業や地域社会によるさまざまな取り組みの推進を図ってまいります。

紛争鉱物への対応

当社グループは、紛争鉱物に関する米国金融規制改革法(ドッド・フランク法)の趣旨・目的に賛同いたします。同法は、コンゴ民主共和国および近隣諸国の武装団体の直接・間接的な資金源となる紛争鉱物(スズ、タングステン、金、および tantalum など)の使用紛争鉱物を含有する可能性のある原材料のサプライヤーを特定することは、当社グループのサプライヤー監査の非常に重要な要素であるとみなし、オンラインの質問票への回答を求めることで、デューデリジェンスを実施しています。



地域社会

NSGグループが事業を展開する地域社会は、事業活動の基盤であるとともに従業員の生活基盤でもあります。地域社会との共存共栄なくして、事業活動の継続はありません。

NSGグループは全世界で約27,000人の従業員を雇用し、欧州、日本、北米、南米、中国、南アジア、東南アジアにまたがる28カ国で主に事業を展開しています。大小合わせて500以上の拠点がそれぞれ、所在する地域社会に雇用、投資などの便益をもたらす一方で、環境に影響を及ぼします。

当社グループが必要な投資を行う場合、通常はその地域社会に、雇用や経済効果などのプラスの影響をもたらします。そこで、当社の事業が地域社会や環境さらには地域経済に及ぼす影響を理解し、適切に対処するために、投資案件ごとに影響評価を実施しています。

私たちは、事業を展開する地域社会の責任ある、重要な一員として、地域社会の発展に積極的な貢献を果たすことが非常に重要であると考えています。グループの主力事業や経営資源の活用を通じて地域社会の取り組みを支援していきます。

目的

私たちは、健全に成長を続ける地域社会で事業を展開し、こうした社会から良き隣人として認められることを願っています。

私たちが、効果的な事業を行い、タイムリーに事業を拡大し、また変化させるためには、まず、地域社会を積極的にサポートし地域の人々の信頼を得ることが不可欠です。

NSGグループは、地域で事業活動を継続するための事業投資に加えて、地域社会への投資も行っています。慈善活動などへの寄付金や物資の提供を通じて、地域社会の健全性の向上や、社会問題の解決に取り組んでいます。また、事業参入や操業、撤退などを含め私たちの事業活動が地域社会に与える影響を評価・管理するプログラムを運用しています。

NSGグループの従業員は、地域社会との良好な関係作りにおいて積極的な貢献を果たすことが奨励されています。例えば、募金活動や地域のプロジェクトにおけるボランティア活動などに参加しています。

NSGグループが2014年3月期に、芸術、医療、福祉、雇用創出、都市再開発などの分野で行った社会貢献支出は、約6,400万円でした。

社会貢献活動事例

北米自動車部門が若き技術者を激励



技術の日、米国シェルビービル工場が地元の高校で若者に対する技術職の奨励に一役買いました。

エンジニアリング部と人事部の従業員が、最終学年の生徒たちのサイエンスプロジェクトの評価を手伝い、低学年の生徒たちには自動車用ガラス製品の優れた機能についてデモンストレーションを行いました。

学生の理系離れが問題となっている中で、このイベントは若者にもっと技術職に就いてもらおうと、1年前に同市と国の当局者が企業や地元の大学と提携して始めた現在進行中の事業の一環です。

地域社会貢献活動にボランティア参加



今年も垂井町相川水辺公園清掃活動に垂井事業所の従業員がボランティアで参加しました。

障害のある子供たちの支援に参加



世界中の障害を持つ子供たちを支援するため、垂井事業所の従業員がペットボトルの蓋の回収を呼びかけました。

VASA社が地域社会と交流



アルゼンチンのVASA社では、従業員の子供たち(4~11歳)を対象に、ユニークなイベントを開催しました。主な目的は、親たちがどのような職場で働いているかを知ってもらうことです。

地域住民向け一般公開



サンサルボ事業所では、お客様・地域に愛される工場を目指して、一般公開イベントを実施しています。また、年3回の家族による職場訪問を開催しています。

サステナブルな学校賞後援



NSGグループは英国において、「セント・ヘレンズ・リポーター・エデュケーション・アワード2014」の「サステナブル学校賞」の後援企業となりました。この賞は、全教科および授業以外の学校生活全般にわたって、環境意識の育成とサステナビリティ(持続的発展)の教育に功績のあった学校を表彰するものです。

地域社会の交通安全企画開催



安全の日の取り組みの一環として、ポーランドのサンドミエシュとファミルフ事業所が警察と連携し、近隣の2つの幼稚園を対象に、警察イベントを開催しました。警察官が交通安全と、知らない人に声をかけられたときの対処法について講義しました。

株主・投資家

NSGグループは、重点的かつ国際的な投資家向け広報(IR)活動を通じて、株主・投資家の皆様への情報提供に努めています。事業年度を通じて、決算説明会、各種発行物、NSGグループのウェブサイトなどにより定期的な情報発信を行っています。

NSGグループは、株主・投資家の皆様、金融機関、行政当局、報道機関に対して、透明性、適時性、正確性のある情報を提供するように努めています。

株主・投資家の皆様に当社グループの戦略や業績を理解した上で投資判断を行っていただくため、できるかぎり多くの情報を提供することを目標に掲げています。

通期および四半期毎の財務諸表を和文と英文で作成し、開示しています。これらの財務諸表はウェブサイトにも掲載しています。

NSGグループの最高経営責任者(CEO)は、IR活動や主要株主とのコミュニケーションの内容に関して取締役会に定期的な報告を行います。取締役会は、当社グループに関して発行された全ての企業リサーチ情報を受領します。株主総会では質疑応答の時間を設け、株主からの質問に議長や取締役会のメンバーが対応します。

NSGグループの「IR基本方針」には、「オープンでフェアであること」、「企業倫理を遵守すること」という目標が反映されています。NSGグループは東京証券取引所(東証)に株式を上場しており、東証の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」(以下「適時開示規則」)に基づいて情報開示を行っています。

また、適時開示規則に該当しない種類の情報についてもその情報を開示することが投資家の利益になると判断された場合、NSGグループの方針に基づいて、迅速かつ公平に情報が伝達されるよう配慮しています。

経営計画情報の提供

NSGグループの利益改善施策は順調に進み、2012年2月の最初の発表以降、追加措置を導入してリストラクチャリング活動を加速させています。

私たちは、現在の資産基盤をあらゆる角度から注意深く検討しています。生産能力を需要に合わせて調整するために、工場の一時操業停止および恒久閉鎖を通して迅速に措置を講じてきました。

長期戦略ビジョン

2014年5月に、当社の進むべき方向として、高付加価値ガラス企業「VAガラスカンパニー」に変容・変革することを長期戦略ビジョンとして設定いたしました。「VA」とは「value-added(高付加価値)」に由来します。当社の目指すもの:

- ガラススペシャリストとして高い信頼を獲得
- 製品とサービスを通じて、世界中の様々なお客様と密接に協働し、独自の付加価値を提供
- 事業構造を転換し、伝統的なビジネスモデルから、より高付加価値品(VA品)に傾注

このような優先課題の転換を通じて真の「VAガラスカンパニー」となるために、当社グループはより収益性の高い企業、よりスリムな総資産、より景気循環に左右されにくい構造を目指します。

中期経営計画

2018年度までの期間は、新長期ビジョンに描かれた「VAガラスカンパニー」としての当社グループの確立に非常に重要な意味を持ち、安定的な財務基盤の確立を最優先させながら、引き続き収益向上に注力し、より高付加価値品(VA品)の販売へと転換します。

これらの目標へのアクションとして、VA品比率を向上させ、既存設備の生産性の最大化を追求し、ものづくりの評判を確立します。

建築用ガラス、自動車用ガラス、高機能ガラスの3つの事業分野をベースにマーケットに即して地域ごとに組織化された事業部門を通じて、戦略を遂行しています。地域別組織とグローバル組織のバランスを上手く取りながら、効率性の向上を図り、市場の展開に迅速に対応することができます。同時に、市場志向型の文化を強化し、売上高を伸ばすという強い意識を醸成し、経営資産をフル稼働いたします。

間接費の削減、製造効率の改善、ならびにクラス最高の調達およびシェアードサービスを通じた原燃料の管理により、当社グループ事業の損益分岐点を下げることを目指しています。限られた資源を賢く使い、現在よりもはるかに低い資本コストで生産能力を作り出すことを目指します。

経営理念の根幹を成す理念である、「事業は人なり」のもと、人材を有効に活用することが現在当社グループの直面している課題を乗り越える推進力になると考えています。当社グループの基本理念である「経営理念と行動指針」を常々実践し、安全と品質を引き続き最優先事項といたします。また、周囲の地域社会へ貢献し、環境に適切に対応することにより、サステナブル(持続可能)な会社になることを私たちは目指します。

業績の報告

NSGグループは、四半期ごとに決算発表を実施し、期末には、国内の証券アナリストや機関投資家向けに決算説明会を開催し、第1から第3四半期にも説明を実施しています。決算説明会ではCEO、COO、CFOが直接、業績や事業戦略に対する進捗状況、今後の見通しについて報告と説明を行います。加えてCFOと広報IR部は、決算発表後に国内外のアナリストや機関投資家とミーティングを重ねています。また、アナリストの方々を対象に工場・施設見学会も適宜開催しています。

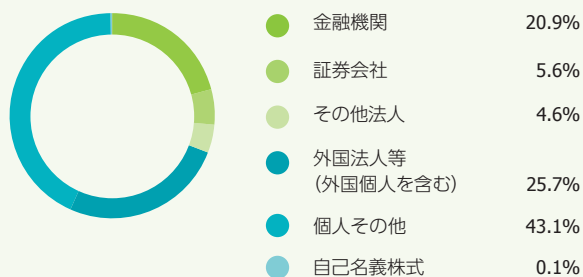
NSGグループはこの1年、財務実績のほかにサステナビリティ関連の実績報告にも重点的に取り組んできました。サステナビリティレポート最新号はサステナビリティの実現を目指すNSGグループの取り組みと実績を伝える重要な媒体で、和文と英文の両方で発行されます。また、これ以外の実績データについては、当社ウェブサイト上の「サステナビリティ」のセクションでご紹介しています。

株主構成の変化

過去6年間で株主構成に著しい変化が見られました。NSGグループは、2006年に英国ピルキントン社を子会社化したことにより、日本のガラスメーカーから東京に本社を置くグローバル企業グループへと移行しました。日本非居住の外国法人等（外国個人を含む）の株主の持株比率が著しく上昇しましたが、現在は減少し、それに対して日本居住の個人株主の比率が上昇しています。

日本に本社を置くグローバル企業であるNSGグループは、世界中の株主・投資家のニーズに応えるためグローバルなIR活動を展開しています。IR関連の発行物の大半は、和文と英文で発行しております。本レポートの40ページおよび当社ウェブサイトをご覧ください。海外のアナリスト、株主・投資家との対話の機会を設けるため、必要に応じてIRツアーを実施しています。

NSGグループの株主構成(所有者別の持株比率) (2014年9月30日現在)



記者会見での吉川恵治氏



アナリストミーティングに出席するNSGグループ執行役

グローバル・レポーティング・イニシアティブ(GRI)指標

NSGグループはグローバル企業として、グローバル・レポーティング・イニシアティブ(GRI)に基づいて実績を評価することにしました。GRIは、共通の慣行を広めることと、企業による経済・環境・社会的パフォーマンスの報告において、決算報告に見られるような比較可能性を実現することを目的にしています。

NSGグループは、サステナビリティのパフォーマンスの着実かつ段階的な改善を目指す当社グループの目標はGRIのアプローチと整合性があり、GRIの定める基準は当社グループのサステナビリティ目標と調和すると考えています。

NSGグループは、自己評価に基づいてGRI報告レベルが「Bランク」に該当することを表明します。また、2016年初めに発行予定の「サステナビリティレポート2015」に向けて、この報告レベルの向上を図っていきます。NSGグループは、以下3つの媒体を活用し、財務・社会・環境パフォーマンスの報告を行います。

- NSGグループアニュアルレポートおよびNSGグループアニュアル財務パート
- NSGグループ サステナビリティレポート
- NSGグループのウェブサイト、www.nsg.co.jp (以下Web)

GRI指標	内容	掲載場所
1	戦略分析	
1.1	組織にとっての持続可能性の適合性と、その戦略に関する組織の最高意思決定者（CEO、会長またはそれに相当する上級幹部）の声明	SR 2ページ
1.2	主要な影響、リスクおよび機会の説明	8-9、15ページ & Web
2	組織のプロフィール	
2.1	組織の名称	40ページ
2.2	主要なブランド、製品および/またはサービス	12、13ページ
2.3	主要部署、事業会社、子会社および共同事業などの組織の経営構造	3ページ&AR
2.4	組織の本社の所在地	40ページ
2.5	組織が事業展開している国の数および大規模な事業展開を行っている、あるいは報告書中に掲載されているサステナビリティの課題に特に関連のある国名	3ページ
2.6	所有形態の性質および法的形式	AR
2.7	参入市場（地理的内訳、参入セクター、顧客/受益者の種類を含む）	3ページ
2.8	報告組織の規模	AR
2.9	規模、構造または所有形態に関して報告期間中に生じた大幅な変更	AR
2.10	報告期間中の受賞歴	28-31ページ
3	報告要素	
3.1	提供する情報の報告期間	42ページ
3.2	前回の報告書発行日	IBC
3.3	報告サイクル	IBC
3.4	報告書またはその内容に関する質問の窓口	40ページ
3.5	以下を含め、報告書の内容を確定するためのプロセス ● 重要性の判断 ● 報告書内のおよびテーマの優先順位付け ● 組織が報告書の利用を期待するステークホルダーの特定	IBC
3.6	報告書のバウンダリー	IBC
3.7	報告書のスコープまたはバウンダリーに関する具体的な制限事項を明記する	IBC
3.8	共同事業、子会社、リース施設、アウトソーシングしている業務および時系列でのおよび/または報告組織間の比較可能性に大きな影響を与える可能性があるその他の事業体に関する報告の理由	AR
3.10	以前の報告書で掲載済みである情報を再度記載することの効果の説明、およびそのような再記述を行う理由	該当なし
3.11	報告書に適用されているスコープ、バウンダリーまたは測定方法における前回の報告期間からの大幅な変更	IBC
3.12	報告書内の標準開示の所在場所を示す表項目を検索できるように、ページ番号またはwebリンクを明らかにする。	38、39ページ
3.13	報告書の外部保証添付に関する方針および現在の実務慣行。サステナビリティ報告書に添付された保証報告書内に記載がない場合は、外部保証の範囲および基盤を説明する。また、報告組織と保証の提供者との関係を説明する。	GRI報告レベル「Bランク」を表明する。ただし本報告対象期間は外部保を受けていない。
4	ガバナンス	
4.1	ガバナンスの構造	10、11ページ
4.2	最高統治機関の長が執行役員を兼ねているかどうかを示す。	10ページ

GRI 指標	内容	掲載場所
4.3	単一の理事会構造を有する組織の場合は、最高統治機関における社外メンバーおよび/または非執行メンバーの人数を明記する。組織が「社外」および「非執行」をどのように定義しているかを明記する。	10、11ページ
4.4	株主および従業員が最高統治機関に対して提案または指示を提供するためのメカニズム	10、11ページ
4.5	最高統治機関メンバー、上級管理職および執行役についての報酬(退任の取り決めを含む)と組織のパフォーマンス(社会的および環境的パフォーマンスを含む)との関係	Web
4.6	最高統治機関が利益相反問題の回避を確保するために実施されているプロセス	10、11ページ
4.7	経済的、環境的、社会的テーマに関する組織の戦略を導くための、最高統治機関のメンバーの適性および専門性を決定するためのプロセス	Web
4.8	経済的、環境的、社会的パフォーマンス、さらにその実践状況に関して、組織内で開発したミッション(使命)およびバリュー(価値)についての声明、行動規範および原則	7-9ページ
4.9	組織が経済的、環境的、社会的パフォーマンスを特定し、マネジメントしていることを最高統治機関が監督するためのプロセス。関連のあるリスクと機会および国際的に合意された基準、行動規範および原則への支持または遵守を含む	Pages 10-11 & Web
4.10	最高統治機関のパフォーマンスを、特に経済的、環境的、社会的パフォーマンスという観点で評価するためのプロセス	Web
4.11	組織が予防的アプローチまたは原則に取り組んでいるかどうか、およびその方法はどのようなものかについての説明	Web
4.12	外部で開発された、経済的、環境的、社会的憲章、原則あるいは組織が同意または受諾するその他のイニシアティブ	1、2ページ
4.13	組織が以下の項目に該当するような、(企業団体などの)団体および/または国内外の提言機関における会員資格	7ページ
4.14	組織に参画したステークホルダー・グループのリスト	7、26-37ページ
4.15	参画してもらったステークホルダーの特定および選定の基準	7ページ
4.16	種類ごとおよびステークホルダー・グループごとの参画の頻度など、ステークホルダー参画へのアプローチ	26-37ページ
4.17	その報告を通じた場合も含め、ステークホルダー参画を通じて浮かび上がった主要なテーマおよび懸案事項と、それらに対して組織がどのように対応したか	26ページ
経済		
	マネジメント・アプローチ	AR
経済的パフォーマンス		
EC1	収入、事業コスト、従業員の給与、寄付およびその他のコミュニティへの投資、内部留保および資本提供者や政府に対する支払いなど、創出および分配した直接的な経済的価値	AR
EC2	気候変動による組織の活動に対する財務上の影響およびその他のリスクと機会	7ページ
環境		
	マネジメント・アプローチ	8ページ
原材料		
EN1	使用原材料の重量または量	22ページ& Web
EN2	リサイクル由来の使用原材料の割合	24ページ& Web
EN3	一次エネルギー源ごとの直接的エネルギー消費量	22ページ
EN4	一次エネルギー源ごとの間接的エネルギー消費量	22ページ
EN5	省エネルギーおよび効率改善によって節約されたエネルギー量	22、23ページ
水		
EN8	水源からの総取水量	25ページ
排出物、廃水および廃棄物		
EN16	重量で表記する直接および間接的な温室効果ガスの総排出量	24ページ
EN17	重量で表記するその他の関連ある間接的な温室効果ガス排出量	24ページ
EN19	重量で表記するオゾン層破壊物質の排出量	Web
EN20	種類別および重量で表記するNOx、SOxおよびその他の著しい影響を及ぼす排気物質	24、25ページ
EN22	種類および廃棄方法ごとの廃棄物の総重量	25ページ
EN23	著しい影響を及ぼす漏出の総件数および漏出量	Web
EN26	製品およびサービスの環境影響を緩和する率先取り組みと影響削減の程度	14-19ページ
遵守		

GRI 指標	内容	掲載場所
EN28	環境規制への違反に対する相当な罰金の金額および罰金以外の制裁措置の件数	Web
製品責任		
	マネジメント・アプローチ	9ページ
顧客の安全衛生		
PR1	製品およびサービスの安全衛生の影響について、改善のために評価が行われているライフサイクルのステージ、ならびにそのような手順の対象となる主要な製品およびサービスの割合	Web
製品およびサービスのラベリング		
PR3	各種手順により必要とされている製品およびサービス情報の種類と、このような情報要件の対象となる主要な製品およびサービスの割合	Web
顧客満足度		
PR5	顧客満足度を測る調査結果を含む、顧客満足に関する実務慣行	Web
マーケティング・コミュニケーション		
PR6	広告、宣伝および支援行為を含むマーケティング・コミュニケーションに関する法律、基準および自主規範の遵守のためのプログラム	Web
労働慣行とディーセント・ワーク		
	マネジメント・アプローチ	8ページ
雇用		
LA1	雇用の種類、雇用契約および地域別の総労働力	27ページ
LA2	従業員の総離職数および離職率の年齢、性別および地域による内訳	27ページ
労使関係		
LA4	団体交渉協定の対象となる従業員の割合	Web
LA5	労働協約に定められているかどうかも含め、著しい業務変更に関する最低通知期間	Web
労働安全衛生		
LA7	地域別の、傷害、業務上疾病、損失日数、欠勤の割合および業務上の総死亡者数	27、28ページ& Web
	研修および教育	
LA10	従業員のカテゴリ別の、従業員あたりの年間平均研修時間	27ページ
LA11	従業員の継続的な雇用適性を支え、キャリアの終了計画を支援する技能管理および生涯学習のためのプログラム	26、27ページ
LA12	定常的にパフォーマンスおよびキャリア開発のレビューを受けている従業員の割合	5ページ
人権		
	マネジメント・アプローチ	8ページ
HR1	人権条項を含む、あるいは人権についての適正審査を受けた重大な投資協定の割合とその総数	Web
HR2	人権に関する適正審査を受けた主なサプライヤー(供給者)および請負業者の割合と取られた措置	32ページ
社会		
	マネジメント・アプローチ	8ページ
コミュニティ		
SO1	参入、事業展開および撤退を含む、コミュニティに対する事業の影響を評価し、管理するためのプログラムと実務慣行の性質、適用範囲および有効性	34、35ページ
公共政策		
SO5	公共政策の位置づけおよび公共政策立案への参加およびロビー活動	11ページ
反競争的な行動		
SO7	反競争的な行動、反トラストおよび独占的慣行に関する法的措置の事例の総件数とその結果	AR
遵守		
SO8	法規制の違反に対する相当の罰金の金額および罰金以外の制裁措置の件数	AR

その他の情報

NSGグループは、当社グループやその属する業界、組織体制、戦略、経営目標およびその進捗状況に関して、できるだけ多くの情報を株主・投資家の皆様に提供するため、以下の冊子を定期的に発行しています。

発行物



NSGグループアニュアルレポート

当社グループの業績を十分にご理解いただくため、本書をご覧ください。(英文のみ)



事業報告書

年2回、6月と12月に発行(和文、英文)。NSGグループの戦略およびその進捗状況を株主の皆様へ提供。



行動規範ガイドライン

NSGグループの従業員向けに発行する、「NSGグループ行動規範」の要約リーフレット。事業を行う全ての地域の言語で制作。

会社情報

(2014年3月末現在)

社名：日本板硝子株式会社

統一グローバル・ブランド：NSGグループ

本社：〒108-6321 東京都港区三田三丁目5番27号

設立年月日：1918年11月22日

資本金：116,449百万円

総資産：925,175 百万円

売上高(連結)：606,095百万円

従業員数：27,079人(連結)

グループ企業数：233社

Web：<http://www.nsg.co.jp>

ウェブサイト

NSGグループのウェブサイト(和文)

(和文)

<http://www.nsg.co.jp>

NSGグループのウェブサイト

(英文)

<http://www.nsg.com>

製品情報等当社に関する問い合わせ

<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us>

NSGグループのサステナビリティ情報

<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability>

報告アプローチ

本レポートは、NSGグループの活動のうち非財務パフォーマンスを伝えるコミュニケーションの一環として作成され、グループ全体をはじめ、地域レベル、拠点レベルでの報告を反映しています。特に明記しない場合、本レポートでは当社グループが経営支配権を有する事業活動を対象とした記述となります。

当社グループの環境パフォーマンスについては、フロートライン31基および型板ガラスの製造拠点5カ所に関して詳細なデータを記載しています。当社グループが経営支配権を有しない合併事業の拠点は除外しています。建築用ガラス事業、自動車用ガラス事業および高機能ガラス事業それぞれの川下加工事業は全て本レポートに含まれます。本レポートに記載の安全実績の統計は当社グループの従業員（正社員および常勤の協力会社社員）の数字です。

当社グループの環境パフォーマンス、社会的パフォーマンスは、ステークホルダーの皆様の関心事項であるとともに事業の成功をもたらす重要な要素です。そのため、NSGグループは2002年より継続的に、環境・社会活動報告書やCSRレポートによってこれらの事項を報告してきました。

2009年に、NSGグループの「サステナビリティレポート」の第1号を発行し、サステナビリティの全ての側面を網羅するよう報告範囲を広げました。NSGグループは、2009年6月に「NSGグループサステナビリティポリシー」を公表し、自らのサステナビリティ目標を定めました。また、2009年12月には、サステナビリティの推進のための取り組みを管理、調整、モニターする「NSGグループサステナビリティ委員会」を設立しました。

2010年、NSGグループの取締役会は、具体的なサステナビリティ目標について合意しました。サステナビリティ目標および目標に対する進捗状況を本レポートの5ページに掲載しています。

2012年、NSGグループは、環境安全衛生部統括部長に小林史朗を任命しました。彼は、サステナビリティの原則がグループの全ての事業活動に織り込まれるよう、取り組みを推進するサステナビリティ委員会の委員長を務めます。2016年初頭に発行予定の「サステナビリティレポート2015」で、その後の進捗についてご報告したいと考えています。

本レポートは、組織の経済、社会、環境面におけるパフォーマンスや対応に関しての、国際的に認められた報告枠組である、「グローバル・レポート・イニシアティブ（GRI）G3サステナビリティ・レポート・ガイドライン」に準拠し、作成されています。NSGグループは、自己評価に基づきその報告レベルが「Bランク」であることを表明します。

本レポートはできるだけコンパクトに情報を絞って掲載しています。そのため、当社グループの実績に関するさらに詳細な情報や図表はNSGグループのウェブサイトの「サステナビリティ」のセクションでご紹介しています。

GRI各指標については<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability/griindex>をご覧ください。

